

第6次結城市総合計画後期基本計画の策定に関する

提 案 書

令和7年3月

第6次結城市総合計画後期基本計画策定
市民ワークショップ

目 次

<u>第1章 市民ワークショップの概要</u>	・・・ 1
1. 目的	・・・ 2
2. 実施方法	・・・ 3
3. 開催状況	・・・ 3
4. 市民ワークショップメンバー名簿	・・・ 4
<u>第2章 まちづくりの課題解決に向けた企画書</u>	・・・ 5
1. 「私たち」の情報発信による観光活性化	・・・ 6
2. 世代を問わず集まれる 現代の公園づくり	・・・ 6
3. 市民一人ひとりが“健幸”なまちづくり	・・・ 7
4. 若者の働く場の魅力創出と地元企業の認知向上	・・・ 7
5. 若者や子どもの希望を叶える空間づくり	・・・ 8
6. 便利で住みやすい交通手段の整備	・・・ 8
7. 結城市行政のデジタル化	・・・ 9
8. オンラインと対面を組み合わせた市民参画の推進	・・・ 9
9. 外国籍住民との交流の場の創出	・・・ 10
10. 子育てに対して温かく 未来を育むまちづくり	・・・ 10
<u>第3章 資料編</u>	・・・ 11
1. 第6次結城市総合計画後期基本計画策定方針【資料1】	・・・ 12
2. 第6次結城市総合計画後期基本計画策定市民ワークショップ設置要項【資料2】	・・・ 17
3. 市民ワークショップ開催状況報告【資料3】	・・・ 18
4. 市民ワークショップ資料【資料4】	・・・ 26

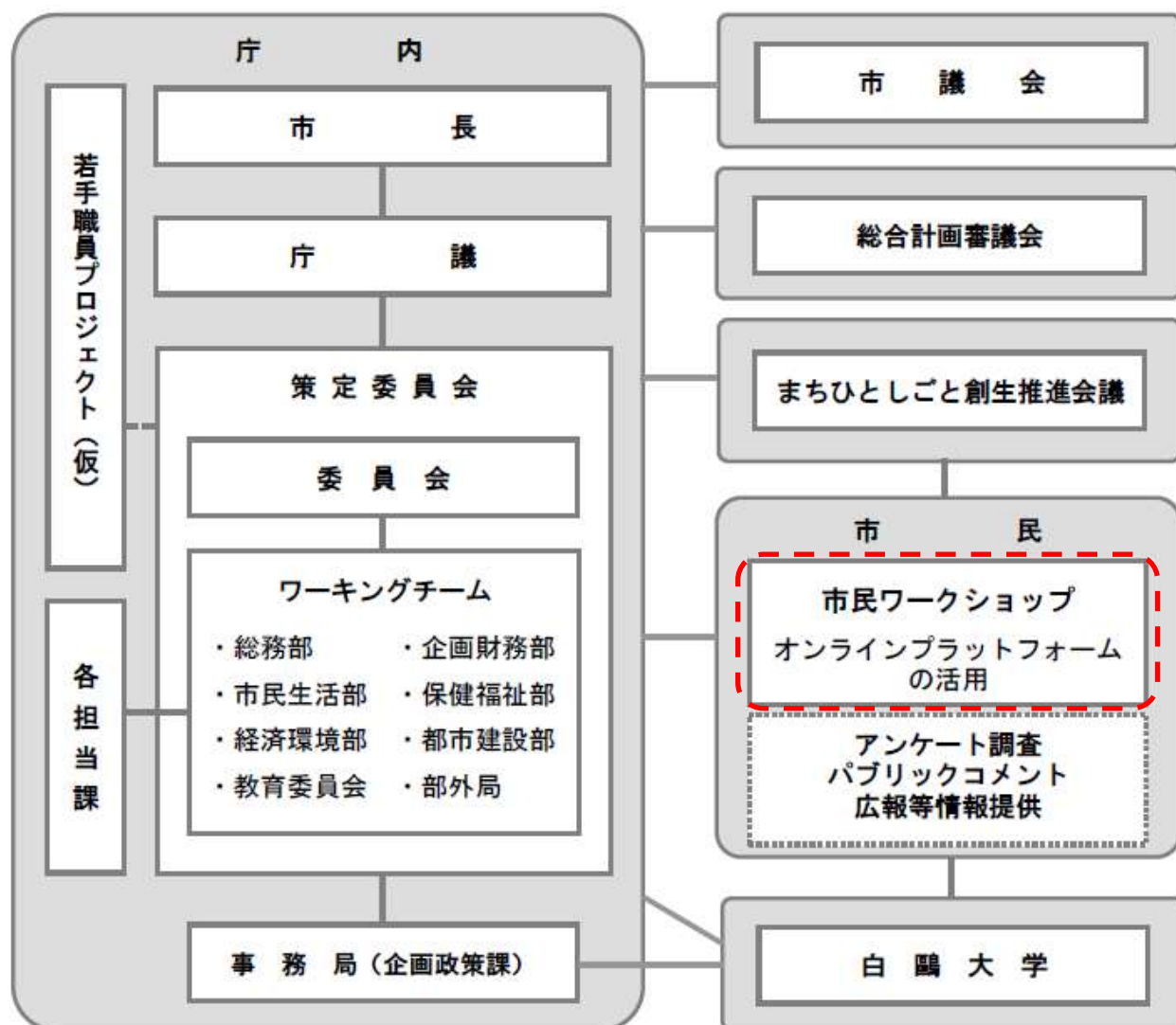
第 1 章 市民ワークショップの概要

1. 目的

現在、結城市では、行政運営・まちづくりの基本方針となる現行の「第6次結城市総合計画（前期基本計画）」が令和7年度をもって計画期間満了を迎えることから、後継の計画となる「第6次結城市総合計画後期基本計画」の策定作業を行っています。その過程において、市民の声を広く聴取し、施策の立案や主要事業検討の際に参考とすることを目的として、本ワークショップを実施しました。

また、様々な形で地域に関わる方の参加によるワークショップ形式とすることで、参加者同士の新たなつながりが生まれるきっかけとなることや、自由な意見交換を通して斬新な発想や企画を創出するとともに、参加者がまちづくりを自分事として捉えるきっかけづくりの場となることを期待して取り組みました。

■第6次結城市総合計画後期基本計画策定体制



「第6次結城市総合計画後期基本計画策定方針」より抜粋

2. 実施方法

本ワークショップでは、「結城を未来につなぐ」次世代を担う立場の方々からの考え方や意見を集めるため、市民または本市へ通勤・通学する18歳以上50歳未満の方を対象とし、公募を含む18人のメンバーにより実施しました。

3. 開催状況

第1回

- ・日時 令和6年12月19日（木） 午後6時30分から午後8時30分まで
- ・会場 結城市役所4階 大会議室2、3

第2回

- ・日時 令和7年1月26日（日） 午後1時30分から午後4時00分まで
- ・会場 結城市役所4階 大会議室2、3

第3回

- ・日時 令和7年3月5日（水） 午後6時30分から午後8時30分まで
- ・会場 結城市役所4階 大会議室2、3

議題等

回	日時	内容
第1回	令和6年12月19日（木） 午後6時30分～午後8時30分	総合計画について 市民ワークショップの目的・進め方について 講義「結城市を取り巻く現状について」 （講師：白鷗大学経営学部 小笠原 伸 教授） オンラインプラットフォーム「Liqlid」について 【グループワーク】 ○自己紹介・アイスブレイク ○結城市の「いいところ」「もうちょっとなところ」
第2回	令和7年1月26日（日） 午後1時30分～午後4時00分	第1回の振り返り 結城市の人口に関する分析 Well-Being（地域幸福度）について 【グループワーク】 ○結城市の“改善すべき課題”って何だろう？ ○課題解決のための“提案”を考えてみよう！ ○検討結果の発表
第3回	令和7年3月5日（木） 午後6時30分～午後8時30分	第2回の振り返り 【グループワーク】 ○課題解決に向けた“提案”をまとめよう ○提案内容の発表

4. 市民ワークショップメンバー名簿

	氏名	グループ
1	川面 真夢	A
2	萩原 亜弥伽	A
3	羽生 奈津恵	A
4	松田 美幸	A
5	安藤 滉二	A
6	石川 雄一郎	A
7	大橋 世羅	B
8	梅山 楓	B
9	越川 紗朋里	B
10	小貫 綾香	B
11	柳田 杏奈	B
12	伊関 琉唯	B
13	青木 朝香	C
14	赤荻 雅人	C
15	嶋田 桃香	C
16	北島 宏章	C
17	池羽 修一	C
18	幸田 恵利	C

■運営支援

	氏名	所属等
1	小笠原 伸	白鷗大学経営学部教授
2	菊池 紫織	白鷗大学小笠原ゼミナール
3	貞廣 成美	白鷗大学小笠原ゼミナール
4	大根田 華恋	白鷗大学小笠原ゼミナール
5	後藤 真理	白鷗大学小笠原ゼミナール
6	長尾 若夏	白鷗大学小笠原ゼミナール
7	高石 航輝	白鷗大学小笠原ゼミナール

■事務局

	氏名	所属等
1	西條 豊二	企画財務部
2	窪田 千伸	企画政策課
3	湯山 友和	企画政策課
4	古俣 潤	企画政策課
5	広瀬 愛	企画政策課
6	小貫 貴弘	企画政策課

第2章 まちづくりの課題解決に向けた企画書

1. 「私たち」の情報発信による観光活性化

1. 市が抱える課題

- 外部に向けた情報発信が不足しており、市の観光に関する認知度が低い
- 本市の観光資源の歴史的価値が十分に認知されていない
- 発信情報に偏りがある（北部市街地の歴史ある街なみばかり推されている）
- 市民（特に若者や主婦、学生）の情報発信力を活かしきれていない
- 市ホームページ以外の媒体（SNS、動画など）を十分に活用できていない

3. 課題解決には何の数字の改善が必要？

- 市民記者による情報発信件数
- 市のSNS登録者数
- 駅の乗降客数
- リポスト数
- 位置情報による観光客の行動データ（いつ、どこで、どんな人がいるか）

2. 課題解決に向けた提案

- 市民参加型の情報発信を実施（若者や主婦、学生をはじめとする市民自らが、地域イベントや自身の店舗を紹介する）
- 流行に合わせた情報発信の実施（ショート動画、ストーリー投稿などの手法を活用）

取り組み実施時の役割分担の想定

- 市民・民間：公式SNSの更新 利用者目線でのイベントや店舗の紹介
- 行政：SNSやブログ記事作成講座等を開催し、市民が発信しやすい環境の整備を行う

4. 同じような取組の事例

- 市民記者による広報紙を活用した情報発信（筑西市）
- 市民特派員による市HP、SNSを活用した情報発信（埼玉県杉戸町）

2. 世代を問わず集まれる 現代の公園づくり

1. 市が抱える課題

- 公園に活気がない
- 子どもが放課後に集まれる場が不足している
- 子どもや若者の遊び場が少ない
- 高校生や大学生がまちづくりに関わる機会が不足
- スケボーパークのようなストリートスポーツ施設がない

3. 課題解決には何の数字の改善が必要？

- リニューアルした公園の数
- リニューアル後の公園満足度
- 子どもや若者の遊び場数
- まちづくりに参加する高校生・大学生の数

2. 課題解決に向けた提案

- 世代を超えた官民共創型の公園整備（子どもから高齢者までが楽しめる場として整備）
- ストリートスポーツのスペースや最新の遊具を導入（市内外から子育て世代を呼び込む）
- 公園付近の空き家を活用し、学習サポートやワークショップを実施
- 既存施設の統廃合などコスト面にも配慮し、持続可能な運営を行う
- 公園利用者の声を反映した柔軟な運営を行う

取り組み実施時の役割分担の想定

- 市民・民間：出張「こども食堂」の展開、飲食屋台やキッチンカーの出展・運営
- 市民・民間・行政：地域一帯での公園運営ルールづくり
- 行政・民間：学習サポートにおける子どもたちの安全の確保

4. 同じような取組の事例

- ムラサキパーク笠間（笠間市）
- 東部総合公園（栃木県宇都宮市、令和8年開園予定）
- 公園づくりワークショップ（大阪府門真市）

3. 市民一人ひとりが“健幸”なまちづくり

1. 市が抱える課題

- ・ 少子高齢化や長寿化に伴う社会保険料負担の増加
- ・ 健康で長生きできる仕組みづくりが不十分
- ・ ストレスをはじめとする健康課題が多様化
- ・ 特定健康診断の受診率が低い

3. 課題解決には何の数字の改善が必要？

- ・ 特定検診受診率
- ・ Well-Being指標における健康状態のスコア
- ・ 健康カレンダーの利用率・実践率
- ・ 健康づくりイベントへの参加率

2. 課題解決に向けた提案

- ・ 健康カレンダーをオンライン化（アプリ化）し、健康に対する自己チェックの促進と意識づけを図る
- ・ 健康カレンダーには旬の野菜やエクササイズを記載
- ・ 市民や企業を対象とした健康やワークライフバランスについてのセミナー・講演会を開催
- ・ 市内の健康づくり資源を見える化した「健康マップ」の作成
- ・ 公園を活用した健康づくりイベントの実施（ウォークラリー等）

取り組み実施時の役割分担の想定

- ・ 市民・民間：健康カレンダーを活用した健康チェック、公園を利用した健康づくりへの積極的参加
- ・ 行政：健康カレンダーや健康マップの作成、健康促進イベントの開催
- ・ 民間：就労者の健康に対する意識づくり

4. 同じような取組の事例

- ・ テレワーカー養成講座、企業向け女性管理職研修（茨城県）
- ・ ベジライフセミナー（福島県矢吹町 × カゴメ）
- ・ 健康セミナー（大阪府貝塚市 × タニタ）

4. 若者の働く場の魅力創出と地元企業の認知向上

1. 市が抱える課題

- ・ 若者の働く場やアルバイト先が不足している
- ・ 若者が進学を機に市外に出てしまい、戻ってこない
- ・ 若年に地元企業があまり認識されておらず、企業の魅力や地元就職のメリットが伝わる機会がない
- ・ 外国籍生徒を対象とした就業支援が不十分
- ・ 農業への新規参入の敷居が高い
- ・ 就労における子育ての課題を吸い上げる場がない（悩みを相談する機会が少ない）

3. 課題解決には何の数字の改善が必要？

- ・ 若年層における社会増減数
- ・ 市ワークライフバランス表彰事業所数
- ・ 「えるぼしマーク」「くるみんマーク」取得事業所数

2. 課題解決に向けた提案

- ・ 若者の就職先創出に向けた就職ニーズの調査
- ・ 民間企業と学校や行政による就職支援の連携・強化（就職セミナー、職業体験・企業ツアーの実施）
- ・ 外国籍生徒を対象とした就職支援プログラムを実施
- ・ 市ワークライフバランス表彰、えるぼしマーク・くるみんマーク取得の促進などにより、既存企業の働き方改革を推進（選ばれる企業へ）
- ・ 民間企業の研修の受入れを行い、サテライトオフィスを誘致
- ・ 就農者支援としてスマート農業導入や農事法人化への支援を実施
- ・ 農業に関心を持つ若者が自由な発想で新規事業や販路開拓に挑戦できるような環境整備や雰囲気づくり

取り組み実施時の役割分担の想定

- ・ 市民：職場の雰囲気づくり
- ・ 行政：若者の就職ニーズ調査、民間企業の研修先誘致、企業ツアーの開催
- ・ 民間：一日職業体験の実施、快適な職場環境の整備 農家の情報発信サポート

4. 同じような取組の事例

- ・ 働き方改革セミナー（栃木県）
- ・ つくば市ダイバーシティ・セミナー（つくば市）
- ・ スマート農業導入加速化支援（竜ヶ崎市）

5. 若者や子どもの希望を叶える空間づくり

1. 市が抱える課題

- 生活必需品以外に買い物をする場がない。
- 仕事帰りに店が閉まっている
- 美味しいお店が減っている、飲食店が少ない
- 若者向けの娯楽施設・店舗が少ない
- 美容系など若者に魅力のある店舗が少ない
- 学童以外の安全な遊び場が不足している
- こどもや若者の居場所がない
- こどもと高齢者層の関わりが希薄化している

2. 課題解決に向けた提案

<若者に魅力ある店舗>

- 空き家を魅力的な店舗開業のチャレンジショップとして活用
- 若者に需要のある業種への、開業・新規出店の支援・補助を実施
- 若者が出店したい、行きたいと思える都市計画やまちづくりのデザインも必要（高校・大学と連携、学生の提案・実証実験の場にも）

<こどもや子育て世代の居場所>

- 空き家を放課後などに子どもが遊べる場として活用
- シニアや子育てを終えた保護者世代による見守りを想定し、高齢者の生きがいづくりの場としての在り方も期待
- 多世代間のコミュニケーションが可能な場とする
- 自主的で無理のない運営を目指す

取り組み実施時の役割分担の想定

- 市民：空き家の提供
- 行政：自由に使えるコミュニティスペースの提供
- 民間：空き家とのマッチング、市民が集まる場としての空き家整備、懐かしい建物を活用したシニアの憩いの場づくり

3. 課題解決には何の数字の改善が必要？

- 新規出店件数（飲食店・小売店など）
- 空き家を活用した出店件数

4. 同じような取組の事例

- 伝統を生かした地域再生（川越市）
- 空き家流通及び利活用モデル構築（水戸市）
- 「美しくなれるまち」空き店舗出店促進（福井県福井市）

6. 便利で住みやすい交通手段の整備

1. 市が抱える課題

- 車がないと移動が不便
- 人口減少と少子高齢化が急速に進行しているが、公共交通が不足している
- 南部在住者は中心市街地の公共施設やサービスを利用しづらい（南部エリアで生活がしにくい）
- 高齢者以外の巡回バス利用が少ない
- 高齢者は、買い物や医療などへのアクセスが困難なことがある
- 夜にタクシーがつかまらない

2. 課題解決に向けた提案

- 近隣自治体との連携による巡回バス路線の拡充
- 巡回バスの利用場面を提案し、児童・生徒にも利用促進を図る
- 自動運転バス・ライドシェアなどの新しい交通手段の導入
- 時間帯と目的に応じた交通手段を整備し、ニーズに沿って運行、利用料を設定し財源を確保
- 街灯や道路整備促進による安全で快適な移動環境の整備
- MaaSの導入（地域住民から旅行者までの様々な移動ニーズに対応し、複数の交通機関を一括で検索・予約し利用可能にする）

取り組み実施時の役割分担の想定

- 市民：民間事業者への提案（ライドシェアや移動販売）
- 行政：近隣自治体との連携による巡回バス路線の拡充、児童・生徒への巡回バス利用促進、企業と連携した交通手段拡充への支援
- 民間：出張販売や移動販売の拡充 ライドシェアの導入

3. 課題解決には何の数字の改善が必要？

- 市内巡回バスの利用者数
- 移動販売車の数

4. 同じような取組の事例

- 隣接市コミュニティバス連携（つくば市 × 筑西市 × 桜川市）
- バスロケーションシステム（筑西市ほか）
- 淡路長沢ミニバス（兵庫県淡路市）
- ドラッグストア移動販売車（埼玉県ほか × ウエルシア薬局）

7. 結城市行政のデジタル化

1. 市が抱える課題

- 行政の情報発信が分かりづらい
- ホームページで必要な情報が見つけにくい
- 窓口での手続きが不便
- デジタル化への対応が不十分
- デジタル化が進む中で、情報弱者等へのサポートが不足

2. 課題解決に向けた提案

- 市役所手続きのDX（デジタルトランスフォーメーション）推進（例：「行かない、書かない、待たない」窓口の実現）
- ホームページの改善（必要な情報にアクセスできるよう、ピクトグラムの表示や検索機能の強化など）
- 市民による「デジタルサポーター」制度の導入（デジタルに対する拒否感や、覚えることの困難さなど、悩み事を捉えて支援する）

取り組み実施時の役割分担の想定

- 市民：デジタルサポーターへの登録・参加、報酬などの仕組みを考えるコミュニティづくり
- 行政：ホームページの改善・DX化の推進、上記コミュニティの場の提供
- 民間：サポーターの登録や報酬などの管理

3. 課題解決には何の数字の改善が必要？

- 市ホームページへのアクセス者数
- オンライン化した手続数
- オンライン手続の利用件数
- デジタルサポートによるデジタルへの悩み事解消率

4. 同じような取組の事例

- ピクトグラム活用のホームページ（東京都渋谷区、兵庫県神戸市）
- ホームページのInstagram連携（北海道帯広市）
- 書かない窓口（下妻市）、手続ナビ（古河市）
- TOKYOスマホサポーター（東京都）

8. オンラインと対面を組み合わせた市民参画の推進

1. 市が抱える課題

- 市民が市政に意見を伝える機会が少ない
- 行政に対する意見がどの程度吸い上げられ、どのくらい実現されるか実感できていない
- 市が何を考えており、市民・地域に対して何を求めているのかが不透明（両者の考え方にギャップがある）
- 地域においてシニアと若者の関係が希薄

2. 課題解決に向けた提案

- オンラインと対面を融合した市民参画の促進（対面やオンラインでの意見交換会やワークショップの開催）
- 意見交換の際にオンラインプラットフォーム（Liqid等）を活用
- 市民からの意見収集を行い、対する行政の方針を明確に発信
- 若者から高齢者まで、多様な世代が参加できる意見交換の場の設置（手段の一つとして、ワークショップ等を開催し、活動を通じた世代間の理解促進を図る）

取り組み実施時の役割分担の想定

- 市民・民間：課題に対する意見の提出、意見交換の場への参加
- 行政：課題の設定 意見提出や交換の場の設置・管理
※長期的な目線で取り組む

3. 課題解決には何の数字の改善が必要？

- 意見交換会の開催数
- 意見交換会への参加者数

4. 同じような取組の事例

- オンラインプラットフォーム上での意見聴収（Liqidなど）
- 市民ビジョン会議、市民フォーラムの開催（小山市）

9. 外国籍住民との交流の場の創出

1. 市が抱える課題

- ・ 市内に外国籍の住民が増加している
- ・ 外国籍住民と日本人住民との交流機会が少ない
- ・ 外国籍住民が地域のルールを理解しにくい
- ・ 外国籍住民にも市民としてまちづくりに参加してほしい

2. 課題解決に向けた提案

- ・ 食文化を中心とした異文化交流イベントの開催
(食事を楽しみながら、挨拶やゴミ出しなどの日常生活におけるルールやマナーを学ぶ機会となる「交流と学びの場」として開催)
- ・ 外国籍住民が地域活動やイベントに参加しやすい環境整備
- ・ 日本人住民と外国籍住民のコミュニティ形成の支援

取り組み実施時の役割分担の想定

- ・ 市民：外国籍住民を含めたイベントの企画・運営・周知
- ・ 行政：イベント開催の支援・場の提供、情報の周知
- ・ 民間：イベントの企画・運営・周知 飲食や物販などの出店

3. 課題解決には何の数字の改善が必要？

- ・ 異文化交流会の開催数

4. 同じような取組の事例

- ・ さくら日本語サークル（東京都新宿区）
- ・ ばら教室KANI（岐阜県可児市）
- ・ かぬまワールドフェスティバル（栃木県鹿沼市）
- ・ ベトナムフェア in東京 2025（東京都）

10. 子育てに対して温かく 未来を育むまちづくり

1. 市が抱える課題

- ・ 子育て支援、少子化対策が十分でない
- ・ 「子ども連れだと行きにくい」「〇〇がやりにくい」など子育てに対する負のイメージがある
- ・ 結城市に「子育てしやすい地域」というイメージがない
- ・ 子育ての悩みを吸い上げる場や意見交換する機会が少ない

2. 課題解決に向けた提案

- ・ 「プレコンセプション・ケア」や「ライフデザイン」の普及促進
(若年層を対象にした説明会や講演会の開催など)
- ・ 雇用主や店舗と連携した、子育てしやすい地域環境の整備
- ・ 子育てに関する悩みや課題を吸い上げる新たな仕組みや機会の創出
- ・ 民生委員の子育て面での支援強化（情報提供や見守りなど）
- ・ 「子育てしやすいまち」としてブランド化し「子育て応援キャッチフレーズ」を設定
- ・ 子育てを支援する「地域コミュニティ」や、少子化に直面する“当事者”たちが意見交換できる「保護者コミュニティ」の形成

取り組み実施時の役割分担の想定

- ・ 市民：子育て支援や啓発活動への参加
- ・ 行政 「プレコンセプション・ケア」や「ライフデザイン」の普及促進、地域ぐるみの子育て支援制度の整備
- ・ 民間 子育てしやすい店舗や職場環境の整備 子育て支援活動への協力

3. 課題解決には何の数字の改善が必要？

- ・ 「プレコンセプション・ケア」や「ライフデザイン」に関する説明会等の開催数
- ・ くるみんマーク取得事業所数

4. 同じような取組の事例

- ・ プレコンセプション・ケアセミナー（横須賀市 × 大塚製薬）
- ・ 中学生ライフデザインセミナー（小美玉市）
- ・ 若い世代向けのライフデザインセミナー（埼玉県久喜市）

第 3 章 資料編

令和 6 年 7 月 2 5 日

第 6 次結城市総合計画 後期基本計画 策定方針

1 計画策定の趣旨

本市では、2025（令和 7）年度を目標年次とする「第 6 次結城市総合計画（前期基本計画）」を 2021（令和 3）年 3 月に策定し、将来都市像を「みんなの想いを 未来へつなぐ 活力あふれ文化が薫るまち 結城」として、その実現のため各種施策を実施してきました。

近年においては、本格的な人口減少社会の到来による人口構造の変化、デジタル化をはじめとした技術革新の進展、新型コロナウイルス感染症対策を契機としたニューノーマル（新しい生活様式）への対応など、本市を取り巻く環境の急速な変化とともに、直面する課題は複雑多岐にわたっています。また、国際化の進展等によるダイバーシティ社会への理解促進や、多発する大規模自然災害に対する安全・安心への意識の高まりなど、市民の価値観やニーズも多様化してきています。

こうした状況に柔軟に対応しつつ、本市の将来にわたる持続可能性の確保と地域幸福度（Well-being^{ウェルビーイング}）の向上を図るためには、行政と市民との協働や産官学連携に積極的に取り組み、既存の知識や経験にとらわれない新たな行政運営が必要となります。また、生涯にわたる健康づくりや未来を担う子どもたちの無限の可能性を引き出す教育に積極的に取り組むことが必要となります。

この度、前期基本計画の計画期間が令和 7 年度をもって終了することに伴い、こうした時代の潮流に即しながら、本市を取り巻く課題への対応と総合的でバランスのとれたまちづくりの実現を図るため、2026（令和 8）年度から 2030（令和 12）年度の 5 年間を計画期間とする「第 6 次結城市総合計画（後期基本計画）」を策定します。

なお、本計画の策定にあたっては、前期計画に引き続き、本市の人口減少対策に資する事業を重点プロジェクトに位置付け、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一体化した計画となるよう整合性を図っていきます。

2 計画の構成及び期間

総合計画は、将来にわたるまちづくりの目標を明らかにし、市が策定するすべての計画の基本となる、行政運営の基本方針を示した市の最上位計画であり、基本構想、基本計画及び実施計画の 3 つで構成されます。

（1）基本構想

基本構想は、結城市の将来都市像を明らかにし、その実現のための施策の大綱を定めるもので、市政運営を総合的かつ計画的に行う指針となるものです。

基本構想の期間は、2021（令和 3）年度～2030（令和 12）年度の 10 年間です。

（2）基本計画

基本計画は、基本構想を実現するための施策体系を示すとともに、各施策の方向性、達成目標、

主要事業などを明らかにするものです。

基本計画の期間は、前期基本計画が 2021（令和 3）年度～2025（令和 7）年度の 5 年間、後期基本計画が 2026（令和 8）年度～2030（令和 12）年度の 5 年間です。

（3）実施計画

基本計画に位置づけられた施策・事業を推進するため、財政的な裏付けを持たせた具体的な計画で、毎年度の事務執行の指針となるものです。

実施計画の期間は 3 年間とし、ローリング方式により毎年必要な調整を行います。

3 後期基本計画策定の考え方

基本構想に掲げる将来都市像「みんなの想いを 未来へつなぐ 活力あふれ文化が薫るまち結城」の実現を目指し、バックカスティング思考による施策立案を進めます。

（1）社会的潮流・動向の反映

後期基本計画の策定過程においては、国が掲げる「デジタル田園都市国家構想」に基づく DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進や、カーボンニュートラルやグリーンインフラをはじめとする環境への配慮、ダイバーシティやインクルージョンといった多文化共生や多様性への理解促進、大規模災害に対する防災意識といった、社会的潮流や動向を反映し取組むこととします。

具体的には、地域 DX への対応も視野に入れたリスクリングの取り組みや、魅力的な教育の展開、健康寿命の延伸を図る施策などを取り入れ、人口の減少を緩やかにし、市民のニーズに応えながら、「住みたい、住み続けたい」選ばれる自治体を目指します。

（2）多角的な視点から市民の声を反映した計画

計画の策定過程では市民を対象としたアンケートのほか、市民ワークショップや審議会等を開催し、市民の意見を広く取り入れた計画とします。

特に、次代の中心を担う 20 代から 40 代の方をはじめ幅広い世代から、課題や目的を可視化し、他者の意見を見ながら自身の意見を寄せることができる「オンラインプラットフォーム」を活用して、時間や場所にとらわれない現代の生活スタイルに合わせた意見聴取を進めます。

（3）今後を見据えた実行可能な計画

現行の前期基本計画の評価・分析を十分に行い、より効果的かつ実行可能な計画策定を目指すこととします。総括的な目標を定め、地域の抱える課題についても的確にとらえた施策体系を設定し、課題解決に取り組めます。施策体系を整理するうえでは、事業評価を踏まえた前期基本計画の分析と課題整理を行い、5 年後に留まらず、10 年後、20 年後に目指す姿を見据えながら、十分に検討を進めていくこととします。

なお、前期基本計画と同様に、計画策定の際には「結城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「結城市行政改革大綱」と整合し一つの計画とすることで、各事業について横断的な視点からの推進を図り、相互に連携の取れた計画とします。

（４）市民が手に取りやすく分かりやすい計画

計画書の作成においては、幅広い年代の方が手に取りやすく、親しみのあるデザイン・レイアウトとするとともに、分かりやすい内容とすることで、一人ひとりがまちづくりに関わる当事者意識を醸成できるよう図ります。

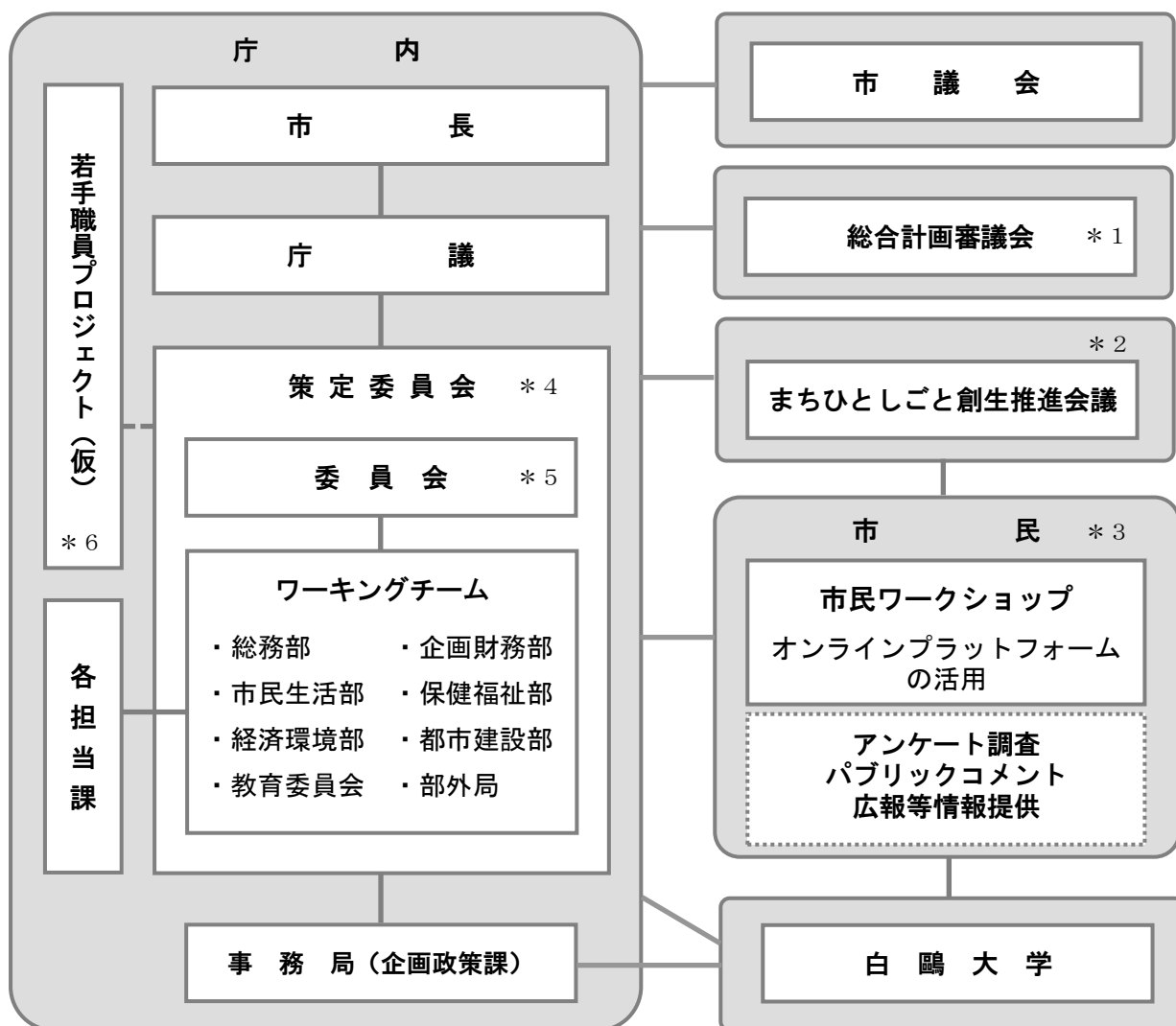
また、ダイジェスト版の作成については、次代を担う小・中学生等における学習にも活用できるよう記載内容についても配慮することとします。

4 策定体制について

計画策定に向けた庁内体制として策定委員会（委員会及びワーキングチーム）を設置し、庁内各課で前期計画の検証及び目指す姿等の意見集約を行い、全庁体制で計画づくりを進めます。

また、策定にあたっては、市民ワークショップやオンラインプラットフォームでの意見募集による「市民参加」の計画づくりを行うと共に、市議会及び総合計画審議会へ逐次報告を行い、連携を図りながら策定を進めるほか、本市との包括連携協定に基づき白鷗大学から総合的な助言・指導を仰ぎます。

■ 策定体制



【注釈】

- ※1 総合計画審議会：市議会議員、知識経験者、市民代表者で構成され、総合計画の策定その他その実施に関し必要な調査及び審議をする。
- ※2 まちひとしごと創生推進会議：総合計画の主要事業から地方創生及び人口減少対策に資するものを重点事業に位置付け、結城市まち・ひと・しごと創生総合戦略として取りまとめる。
- ※3 市民ワークショップ：幅広い世代の市民の意向を計画へ反映するため、市民参加によるワークショップを開催し総合計画全般について市民目線の意見を収集する。
- ※4 策定委員会：素案・原案の審議、総合調整等を行う。（部長会議）
- ※5 ワーキングチーム：職員による適正かつ円滑な計画策定に向けて、骨子・素案の立案、検討及び各課担当課との連絡調整など、実質的作業を行う。（課長補佐・主務係長等）
- ※6 若手職員プロジェクト：市制施行 70 周年記念事業の一環として、30 代の職員を中心としたワークショップを行い、30 年後に 100 周年を迎える本市において想定される課題を整理するとともに、解決方法や目指すべき姿について検討を行う。（主任・主幹等）

5 計画の策定過程について

（１）計画策定にあたっての基礎調査

- ①本市の概況整理（社会経済情勢・関連計画・都市間比較の整理）
人口・産業動向や生活環境の変化を調査し、増減及び充実度などを把握します。
- ②現行計画の進捗状況の整理（施策評価）
事務事業評価及び施策評価を用いて、現行計画（前期基本計画）の進捗状況を整理します。
- ③市民意向調査（設計及び配布、回収、集計、分析）
市民アンケートを実施し、まちづくりに関する認識・評価及び今後の施策への要望等を把握し計画へ反映します。
- ④本市を取り巻く政策課題の整理
これまでに寄せられた地域からの要望や各種調査結果を取りまとめ、整理します。

（２）市民参加による計画策定

- ①ワークショップの実施
設定したテーマについて市民参加によるワークショップを実施し、本市が目指すべき姿を検討します。
- ②オンラインプラットフォームを活用した意見募集
市民のみならず、本市に関心のある 20 代～40 代をメインターゲットとした、多様な世代が参画しやすいオンラインプラットフォームを導入し、意見募集と策定状況の可視化を図ります。

（３）計画策定における庁内推進体制

庁内の各部局単位を基本として、課長補佐・主務係長級職員により構成されるワーキングチームを組織し、庁内各課で前期計画の検証及び施策体系等の検討を行います。

また、部長級幹部職員を中心に組織される委員会においては、ワーキングチームによる策定作業結果を再度検証しつつ計画の検討を進め、全庁体制で計画づくりを進めます。

（４）策定審議会の組織・開催と答申

各分野の代表等により組織される諮問機関である策定審議会を組織し、策定業務の進捗に併せ、意見を聴取します。

（５）後期基本計画の立案・とりまとめ

①調査票作成・ヒアリングの実施

調査票・ヒアリングシートを作成し、調査結果をとりまとめます。

②体系別基本計画の作成

基本施策ごとの現状と課題を把握したうえで基本的方針及び施策体系・施策の総括的目標（KPI）を取りまとめます。この目標値については、2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の理念や目標と、デジタル庁による地域幸福度（ウェルビーイング）指標を考慮しながら設定します。

③体系別基本計画における個別施策・目標値の検討

個別施策検討依頼シートを作成し、個別施策・主要事業などをとりまとめます。

（６）まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定

国のデジタル田園都市国家構想総合戦略に合わせ、後期基本計画との整合性を図りながら、今後5年間の人口減少対策の目標や施策を定めた計画として、「第2期結城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改定し、新たに「結城市デジタル田園都市構想総合戦略（仮称）」を策定します。

（７）計画書素案に対する市民意見の聴収及び計画書作成

①パブリックコメントの対応

計画書素案を作成のうえ、市民からの意見聴収を目的としてパブリックコメントを実施します。実施の際は広く意見を求められるよう、オンラインをはじめとする多様な手法について配慮することとします。

②計画書・概要版の作成

パブリックコメントの結果や審議会の答申を踏まえ、計画書及び概要版を作成します。

第6次結城市総合計画後期基本計画策定市民ワークショップ設置要項

(設置)

第1条 第6次結城市総合計画後期基本計画（以下「後期基本計画」という。）の策定に当たり、「結城を未来につなぐ」次世代を担う市民の声を広く聴取するため、第6次結城市総合計画後期基本計画策定市民ワークショップ（以下「市民WS」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 市民WSは、前条の目的を達成するため、後期基本計画の策定に関し必要な事項について協議する。

(組織)

第3条 市民WSは、委員20人以内をもって組織する。

2 委員は、公募に応じた者又は市政に関係する団体等から推薦を受けた者のうち、市内に居住し、通学し、又は勤務する18歳以上50歳未満の者であって、市政に深い関心と熱意を有するものの中から市長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱された日から後期基本計画が策定されたときまでとする。

2 委員は、委嘱されたときの要件を欠いたときは、その職を失うものとする。

(座長及び副座長)

第5条 市民WSに、座長1人及び副座長若干名を置く。

2 座長及び副座長は、それぞれ委員の互選により選出する。

3 座長は、市民WSを代表し、会務を総理する。

4 副座長は、座長を補佐し、座長に事故あるとき又は座長が欠けたときは、あらかじめ座長が指定した順に従い、その職務を代理する。

(会議)

第6条 市民WSは、座長が必要に応じ招集し、その議長となる。

2 市民WSは、特に必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(提言)

第7条 座長は、市民WSで検討したことについて、第6次結城市総合計画後期基本計画策定委員会に随時提言することができる。

(庶務)

第8条 市民WSに関する庶務は、企画財務部企画政策課において処理する。

(補則)

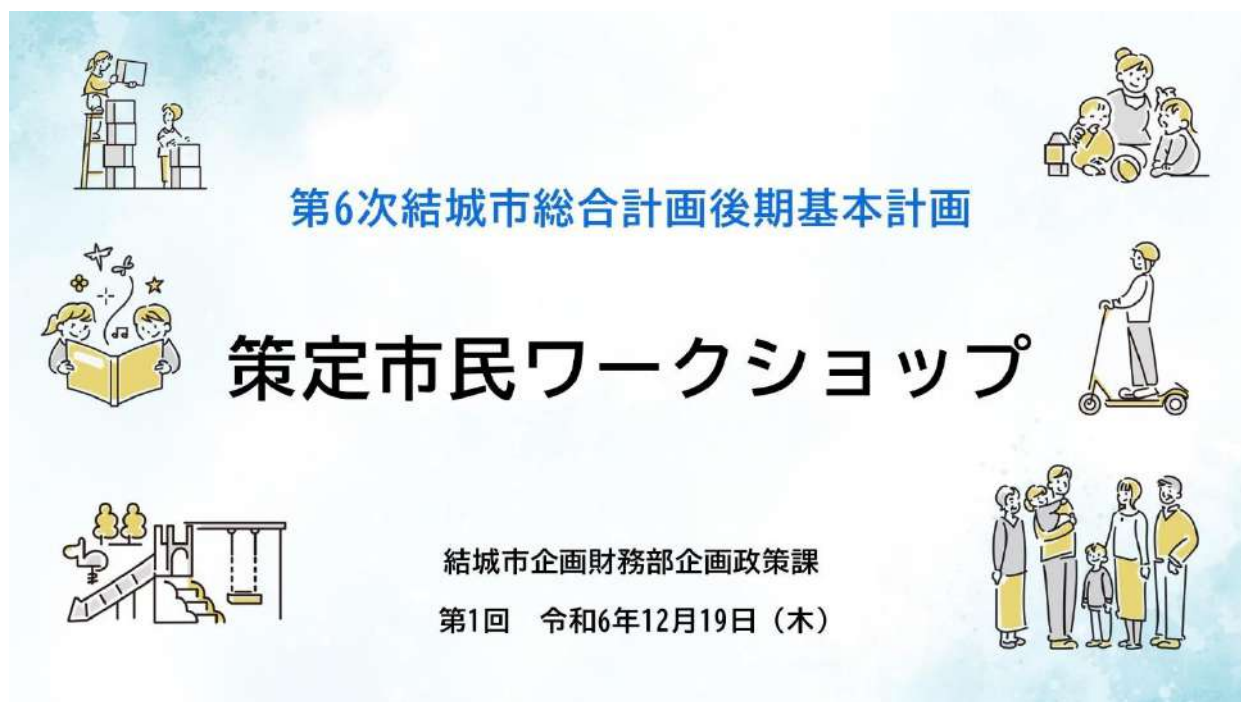
第9条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

付 則

この要項は、令和6年10月11日から施行する。

4. 市民ワークショップ 開催状況報告

■第1回



開催日時

令和6年12月19日(木) 午後6時30分～午後8時30分

会場

結城市役所4階 大会議室2、3

議題

- ・副市長あいさつ
- ・講師及び事務局紹介
- ・総合計画について
- ・市民ワークショップの進め方について

【講義】

テーマ：結城市を取り巻く現状について

講師：白鷗大学経営学部 小笠原 伸 教授

【グループワーク】

グループ内自己紹介(Liqlid上へ投稿)

テーマ：結城市の「いいところ」「もうちょっとなところ」

当日の記録

第1回のワークショップ開催にあたっては、事務局から「総合計画の概要」及び「市民ワークショップの趣旨や進め方」について説明を行った後、開催にあたりご支援をいただいている「白鷗大学経営学部 小笠原教授」による「結城市を取り巻く現状について」の講義を受講しました。

その後、A・B・Cのグループに分かれ、アイスブレイクを兼ねた自己紹介を実施した後、「結城市の“いいところ”“もうちょっとなところ”」というテーマでグループワークを行い、Liqlid上へ各自の意見を書き込みました。

6. ブレインストーミング

テーマ “結城市の「いいところ」「もうちょっとなところ」”

先ほどの自己紹介と同様に、上記テーマの「アイデア」へ投稿してください。
※今回は「タグ」という機能をつけています。

投稿する際には、
①「いいところ」「もうちょっとなところ」のいずれかを選択
②次に、どの「分野」に当てはまるか選択して投稿（複数可）
※分野が分からない場合は「その他」を選択



1. 総合計画の概要

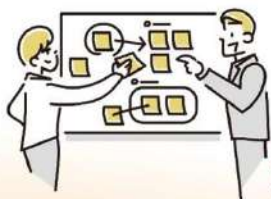
総合計画とは…

行政運営の基本方針を定めた市の最上位計画です。

- ・将来のまちづくりの基本理念
- ・目指すべき将来都市像
- ・政策の方向性
- ・体系化された具体施策



■第2回



第6次結城市総合計画後期基本計画

策定市民ワークショップ

結城市企画財務部企画政策課

第2回 令和7年1月26日（日）



開催日時

令和7年1月26日（日） 午後1時30分～午後4時00分

会場

結城市役所4階 大会議室2、3

議題

【グループワーク】

テーマ1：結城市の“改善すべき課題”って何だろう？

テーマ2：課題解決のための“提案”を考えてみよう！

当日の記録

冒頭に前回の振り返りとして、Liqlid上へ投稿されたアイデアについての内容や傾向についての概要説明と、AI分析した結果について共有を行いました。

また、これからの結城市を考えるうえで併せて知っておいていただきたい「結城市の人口に関する分析結果」と「Well-Being」についての説明を事務局から行いました。

その後、2つのテーマについてグループワークを行い、KJ法を活用しながら意見をまとめました。最後に検討結果を各グループの代表者が行い、全体で考え方を共有しました。

1. 第1回の振り返り

投稿内容の分析 ～ワードクラウド～



1. 第1回の振り返り

投稿内容の分析 ～A I分析結果～

寄せられた意見を大きく6つの項目に分類

1. 地域活性化
2. 教育と子育て
3. 交通とアクセス
4. 環境と自然
5. 高齢者支援
6. 情報とコミュニケーション



参考 将来推計人口について

令和6年度 まち・ひと・しごと創生推進計画(第1期)から抜粋

- ・2020年に50,645人だった結城市の人口は、2050年は39,431人となり、11,214人(22.1%)減少すると推計されています。
- ・2018推計では2040年に41,023人まで減少すると推計されていましたが、2023推計では43,599人に上方修正されました。
- ・第6次結城市総合計画における将来展望人口(縮減人口ビジョン)では、2030年は48,000人、2040年は43,000人としていますので、今後、令和5年度の推計値どおり推移すれば、将来展望人口を概ね達成できる見込みとなっています。



2. グループワーク①

テーマ1 結城市の“改善すべき課題”って何だろう？

前回のWSで考えた「もうちょっとなトコロ」から見えてくる、

“これを改善すれば結城市はもっとよくなる”ことや“市民の満足度が上がる”ことは何でしょう？

前回のグループワークの結果やキーワードも参考に考えてみよう。

・もうちょっとなトコロ ⇒ どうしてもうちょっと？何が原因？＝課題や改善点





■第3回

第6次結城市総合計画後期基本計画

策定市民ワークショップ

結城市企画財務部企画政策課

第3回 令和7年3月5日（水）



開催日時

令和7年3月5日（水） 午後6時30分～午後8時30分

会場

結城市役所4階 大会議室2、3

議題

【グループワーク】

テーマ：課題解決に向けた“提案”をまとめよう

当日の記録

冒頭で前回の意見交換の結果について振り返りを行った後、当日のグループワークとして、前回議論した内容と、これまでの意見から拾い上げた追加の課題についての“解決のための提案”を企画書としてまとめていく作業を行いました。グループ毎に検討した結果については発表し共有を行うとともに、株式会社 Liquitous 社の協力のもとで「グラフィックレコーディング」の手法を用いた「視覚的な情報共有」を試みました。

今回で全3回の対面でのワークショップは終了となり、引き続き Liqlid を活用しながら Web 上で提案書の仕上げを行っていきます。

第3回 第6次結城市総合計画 後期基本計画 策定市民ワークショップ

20250305(水) 18:30~ @ 結城市役所 4階 大会議室 1~3

課題解決に向けた“提案”をしよう

WSの進め方 ①ふせんに書き出す ②企画書に貼る ③企画書の内容検討 ④完成発表



- ① 結城市の改善すべき課題は何か?
- ② 課題解決のために“提案”を考へよう

A 課題 [協働・行政]

- 1 情報発信が不足
 - 2 子ども若者の遊び場不足
- 解決策の提案 [教育・文化]
- 1 情報発信の改善が必要
 - 2 やる気や意欲が湧くように工夫する機会創出

B 課題 [産業・観光]

- 1 若者・外国人に対する就職支援不足
 - 2 駅前中心に空き店舗が多く美容系店舗多
 - 3 子ども安全な遊び場不足 高齢者の関わり希薄
- 解決策の提案 [保健・福祉]
- 1 若年層・外国人向け企業ツアーで認知度UP
 - 2 空き店舗を活用し美容系店舗 創業支援
 - 3 空き家・公民館を活用し高齢者参加による子ども居場所づくり

C 課題 [協働・行政]

- 1 シアの認知度低く若者の意見が取り入れられず
 - 2 行政の情報発信がわかりにくい
 - 3 外国人に理解があるが互いの理解が不足
- 解決策の提案 [保健・福祉]
- 1 シアと若者 理解促進の場 (Liaisonと対面型利用)
 - 2 市HPのインターフェース情報整理の改善
 - 3 外国籍住民の交流機会を設けお互いの理解、イメージ改善を図る

本市民WSの進め方

- 1 結城市の現状を知る
- 2 結城市にある課題を見つける
- 3 課題の解決に向けた提案を検討
- 4 提案をまとめる

⇒ “提案書”を市に提出!!
令和7年3月28日(金)!!

[都市・環境]

- ✓ 便利な住みやすいまちづくり
- ✓ 世代を問わない現代の公園づくり

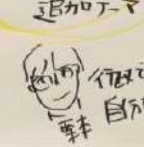
[保健・福祉]

- ✓ 市民の健康増進の向上
- ✓ 子育て支援の環境づくり

[産業・観光]

- ✓ 若者向け商品(若手基盤)の整備
- ✓ 魅力的な店舗の創出

市からの追加テーマ



A

若者・観光

- 市 SNS 講座 (R) 市民ライター育成

健康(幸)

- 市 健康ウォーク (R) 自分たちで健康づくり

公園・居場所

- 市 色んな人の居場所 企画実施 (R) 地域で交流する居場所づくり

B

住みやすさ・暮らし

- 市 買い物支援 (R) 情報発信

空き家活用・居場所

- 市 場所の提供 (R) マネージング・支援
- 市 情報発信 (R) シア・交流

若者の働き場

- 市 補助金 (R) 職歴登録
- 市 職歴登録 (R) 職歴登録

C

行政サービス

- 市 行政サービス (R) シア・交流

オンライン・対面

- 市 オンライン (R) 課題解決の対面WS
- 市 オンライン (R) 課題解決の対面WS

外国籍住民の交流

- 市 異文化の紹介 (R) インタビュー

みなさんの提案を総合計画に
盛り込む反映していきましょう!!



1. 第2回の振り返り

検討結果 Aグループ



○課題
1. 情報発信が不足している
(市の情報発信不足、観光における本市の価値の再評価の必要性)
2. 子ども若者の遊び場が不足している
(遊ぶ場所が少ない、学生がまちづくりに参画する機会が少ない)

○解決策の提案
1. 情報発信の改善が必要→若者や主婦層に情報発信を委託し、役割を担ってもらう。
2. やる気ある学生（高校生や大学生）がまちづくりに関わる機会を生出し、子ども達の場所づくりの担い手としての参画を促す。

4

2. グループワーク 課題解決に向けた“提案”をまとめよう

今回は、まとめの作業として提案の“企画書”を作りたいと思います

“企画書”は市民WSでの成果として、“提案書”に収録する予定です
(案には前回のGWで出された意見と提案を落とし込んでいます)

本日は、グループワークの中で意見交換しながら、
企画書を加筆・修正して仕上げる作業を行います！

12





第6次結城市総合計画後期基本計画



策定市民ワークショップ



結城市企画財務部企画政策課

第1回 令和6年12月19日（木）



目次

1. 総合計画の概要
2. 市民WSの目的・進め方
3. 講義「結城市の現状について」
講師：白鷗大学経営学部 小笠原伸 教授
4. オンラインPF「Liqlid」について
5. アイスブレイク
6. ブレインストーミング
“結城市の「いいトコロ」「もうちょっとなトコロ」”

1. 総合計画の概要

1. 総合計画の概要

総合計画とは…

行政運営の基本方針を定めた
市の最上位計画です。

- ・ 将来のまちづくりの基本理念
- ・ 目指すべき将来都市像
- ・ 政策の方向性
- ・ 体系化された具体施策



1. 総合計画の概要

簡単に言うと…

「こんなまちを目指します」
「こんなことに取り組んでいきます」

といった

“まちづくりの方向性”を示すもの



1. 総合計画の概要

第6次結城市総合計画の構成

基本構想

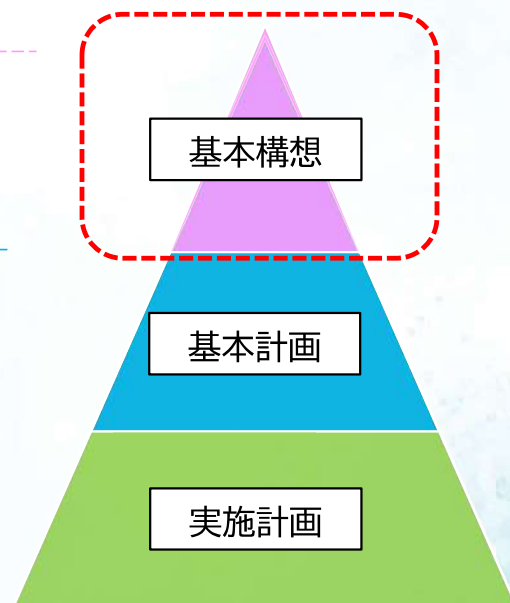
本市の将来都市像を示し、その実現のためにまちづくりの目標を定めるものです。

基本計画

基本構想に定めたまちづくりの目標ごとの基本施策を示し、施策の方向性や達成目標、主要事業などを明らかにするものです。

実施計画

基本計画に位置付けた施策・事業を推進するための具体的な計画です。3年計画となり、毎年ローリング方式で調整を行います。



1. 総合計画の概要

基本理念

- (1) 健幸で安全・安心に暮らせるまちづくり
- (2) 地域資源を活用した魅力と活力あるまちづくり
- (3) みんなの協働で未来を切り拓くまちづくり

1. 総合計画の概要

将来都市像

みんなの想いを
未来へつなぐ
活力あふれ文化が薫るまち 結城

1. 総合計画の概要

まちづくりの目標【基本目標】

- ① みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を
目指そう【保健・福祉】
- ② 住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を
目指そう【都市・環境】
- ③ 歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を
目指そう【産業・観光】
- ④ 未来を担う子どもと生き生きした市民を育む
地域を目指そう【教育・文化】
- ⑤ みんなの協働で進める 持続可能な行政を
目指そう【協働・行政】

1. 総合計画の概要

第6次結城市総合計画の構成

基本構想

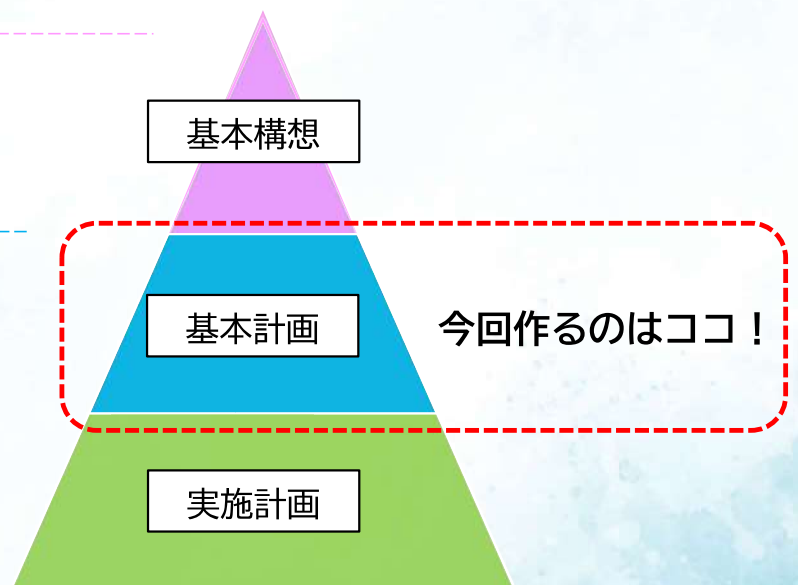
本市の将来都市像を示し、その実現のためにまちづくりの目標を定めるものです。

基本計画

基本構想に定めたまちづくりの目標ごとの基本施策を示し、施策の方向性や達成目標、主要事業などを明らかにするものです。

実施計画

基本計画に位置付けた施策・事業を推進するための具体的な計画です。3年計画となり、毎年ローリング方式で調整を行います。



1. 総合計画の概要

①基本施策

「まちづくりの目標（基本目標）」を実現するために、目標の分野別に定めた、

“今後のまちづくりの基本的な方向性”を示したもの。

⇒事業や取組の「見出し」にあたる部分

■ 施策体系

まちづくりの目標 【基本目標】	【基本施策】
① みんなで支えあい 安心して暮らせる 地域福祉を目指す 保健・福祉	未来を担う子どもを育む環境づくり 〔児童福祉〕 健康長寿で安心できる暮らしづくり 〔健康・医療〕 地域で支えあう福祉環境の充実 〔地域福祉／障害者（児）福祉／低所得者福祉／母子・父子福祉〕 高齢者が生き生きと安心して暮らせる地域づくり 〔高齢者福祉〕
② 住みたい・住み続けたい 安全・快適な 都市を目指す 都市・環境	コンパクトで魅力あるまちづくり 〔都市計画〕 快適で住みやすいまちづくり 〔住環境／道路／公共交通〕 安全に暮らせるまちづくり 〔防災・防犯〕 地球環境にやさしいまちづくり 〔環境共生／生活環境／上下水道〕
③ 歴史と自然を育み にぎわいと活力ある 産業を目指す 産業・観光	特色ある農業の振興と活性化 〔農業〕 活力と創造力を育む商工業の振興 〔商業／工業／地方創生〕 地域資源を活用したにぎわいと交流の促進 〔観光／伝統産業／シティプロモーション〕
④ 未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む 地域を目指す 教育・文化	地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり 〔学校教育〕 生涯学習・環境の充実と市民が誇れる芸術文化の創造 〔生涯学習／地域教育／青少年の健全育成／芸術・文化〕 誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進 〔スポーツ・レクリエーション〕 多様性を尊重し合える社会づくり 〔男女共同参画・人権／国際交流・多文化共生／地域間交流〕
⑤ みんなの協働で進める 持続可能な 行政を目指す 協働・行政	市民と行政がともに支えあう体制づくり 〔市民参加／情報発信・公開／広聴広報／コミュニティ／ボランティア〕 自立した行政経営の構造づくり 〔行政運営／広域連携〕 情報化社会に対応した行政サービスの向上 〔行政サービス／情報化／個人情報保護〕

「チャレンジする市役所」への変革 「行政改革」

1. 総合計画の概要

②主要事業・重点事業

基本施策で示した「まちづくりの方向性」を実現するための具体的な事業や取組。

併せて事業別に目指す目標（指標）や計画期間終了時の達成目標についても記載。

事業例)

市道舗装補修事業、少子化対策医療費助成事業
など

● 個別施策・主要事業

1 健康づくりの推進

市民の生活習慣に関する意識啓発や、気軽に取り組める健康づくり活動の支援を行うとともに、健康的で活力ある生活を送るための食生活の改善等や運動普及の推進、健康な身体づくりの支援を行います。
また、ストレスから身を守り、こころの健康を保つための普及啓発、気軽に相談できる環境の整備を行います。

● 重点事業

主要事業	指標名	現状値(R1)	目標値(R7)
○ 食育推進事業〔健康増進課〕 「食」について学習できる機会の提供	朝食を毎日食べる生徒の割合	85%	95%
○ 運動普及推進事業〔健康増進課〕 運動普及推進員の養成・育成	普及員数	29人	50人
○ 栄養改善推進事業〔健康増進課〕 食習慣の基礎となる時期に栄養の与え方を支援する離乳食教室を実施	教室実施回数	8回/年	10回/年
○ 食生活改善事業〔健康増進課〕 食生活改善推進員の養成・育成	推進員数	36人	50人

1. 総合計画の概要

計画期間

基本構想	令和3年度～12年度
前期基本計画	令和3年度～7年度
後期基本計画	令和8年度～12年度



1. 総合計画の概要

第6次結城市総合計画後期基本計画策定方針（資料3から抜粋）

3 後期基本計画策定の考え方

- ①社会的潮流・動向の反映
- ②多角的な視点から市民の声を反映した計画
- ③今後を見据えた実行可能な計画
- ④市民が手に取りやすく分かりやすい計画

2. 市民WSの目的・進め方

2. 市民WSの目的・進め方

「第6次結城市総合計画後期基本計画策定市民ワークショップ設置要項」 (資料4から抜粋)

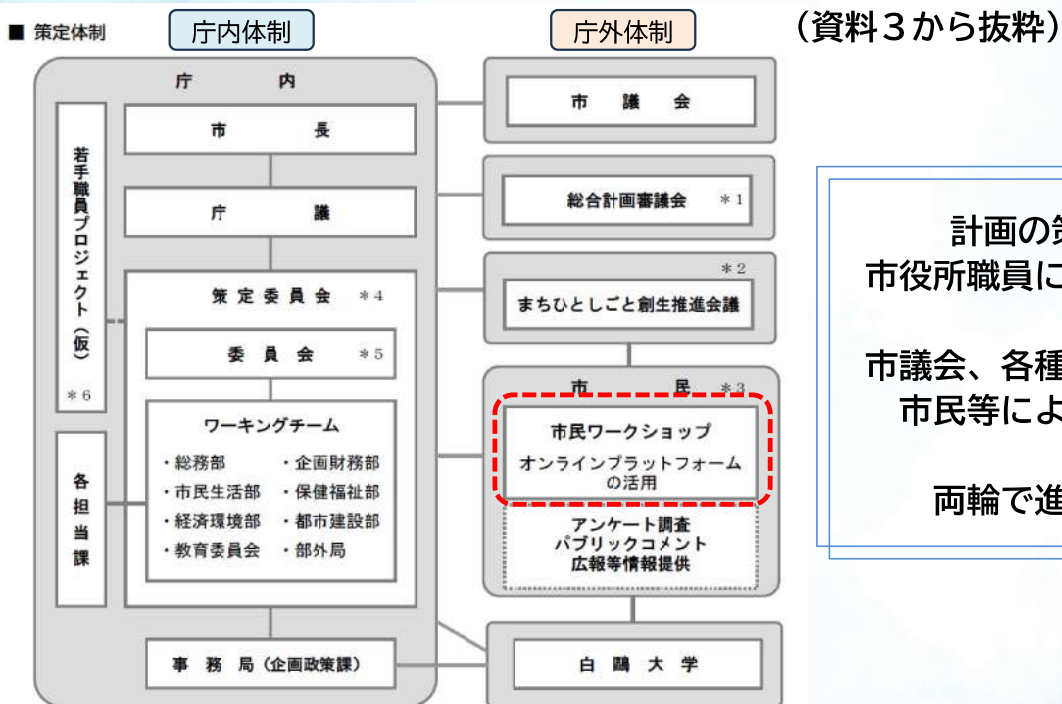
(設置)

第1条 第6次結城市総合計画後期基本計画（以下「後期基本計画」という。）の策定に当たり、「結城を未来につなぐ」次世代を担う市民の声を広く聴取するため、第6次結城市総合計画後期基本計画策定市民ワークショップ（以下「市民WS」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 市民WSは、前条の目的を達成するため、後期基本計画の策定に関し必要な事項について協議する。

2. 市民WSの目的・進め方



計画の策定においては
市役所職員による「市内体制」と
市議会、各種会議をはじめとした
市民等による「市外体制」の
両輪で進めていきます。

2. 市民WSの目的・進め方

本市民WSの進め方

全3回のWSの中で、以下の内容を予定しています。

1. 結城市の現状を知る
2. 結城市における課題を見つける
3. 課題の解決に向けた提案を検討
4. 提案をまとめる

これが目的！

⇒ 「提案書」を市へ提出

2. 市民WSの目的・進め方

本市民WSは…

後期基本計画の策定にあたり
特に“次代を担う世代”の方々から
「柔軟な発想」や「意見」を集める場
として企画しました。

2. 市民WSの目的・進め方

企業や団体も含め

地域に関わるみんなで「共創」していく時代

自治体主導ではなく
市に関わる方 一人ひとりが
まちづくりに関わっていくことが重要です

皆さんの“声”を聞かせてください。

楽しく 実りあるWSにしましょう！

4. オンラインプラットフォーム 「Liqlid」について

4. オンラインPF「Liqlid」について

合意形成プラットフォーム（PF）「Liqlid」は、
「じっくり話してしっかり決める」をコンセプトに
開発されたオンラインツールです。
ダウンロード・インストール不要のブラウザ上で
動作するPFで、これ一つで広範なアイデアの募集や
熟議、さらには合意形成までを一貫して行えます。



4. オンラインPF「Liqlid」について



市民WS Liqlid

【QRコード】



【URL】

<https://yuki-city.liqlid.jp/space61wxh02i>

4. オンラインPF「Liqlid」について

アカウント登録 ～ 使用開始まで（スマホver.）

Step1

①市民WS（次ページ参照）から右上のログインページをクリック。



Step2

②アカウントログイン方法を選択し、指示に従って登録。



Step3

③登録後、指定の方法でログイン。（画面はメールアドレス）



Step4

④市民WSのトップページから、各種作業等を選択。



4. オンラインPF「Liqlid」について

アイデアの投稿（スマホver.）

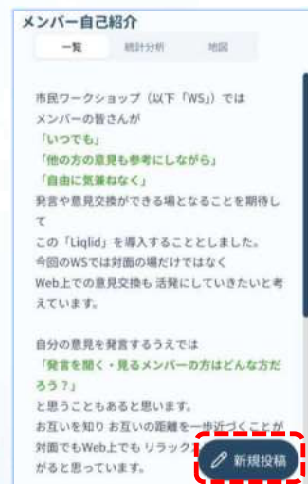
Step1

①市民WSトップページ上部の投稿したいアイデアを選択。



Step2

②アイデアページに移動するので、「新規投稿」を選択。



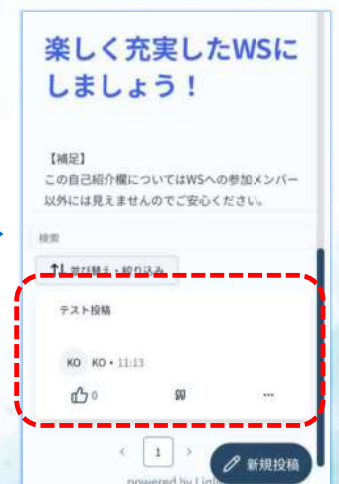
Step3

③アイデアを入力し、投稿する。（画像等も挿入可能）



Step4

④投稿した内容が表示される。（適宜 修正・削除も可能）



4. オンラインPF「Liqlid」について

意見を書き込むうえでのルール

- ・ 他の意見を批判したり中傷したりしない
- ・ Webも対面も同様 ⇒マナーを守る
- ・ 読み手に対する「配慮や思いやり」を忘れずに



「Liqlid」の“ポリシー”を参照してください。

※市民WSはメンバーのみの閉鎖されたスペースなので、外からは見えない仕様です。

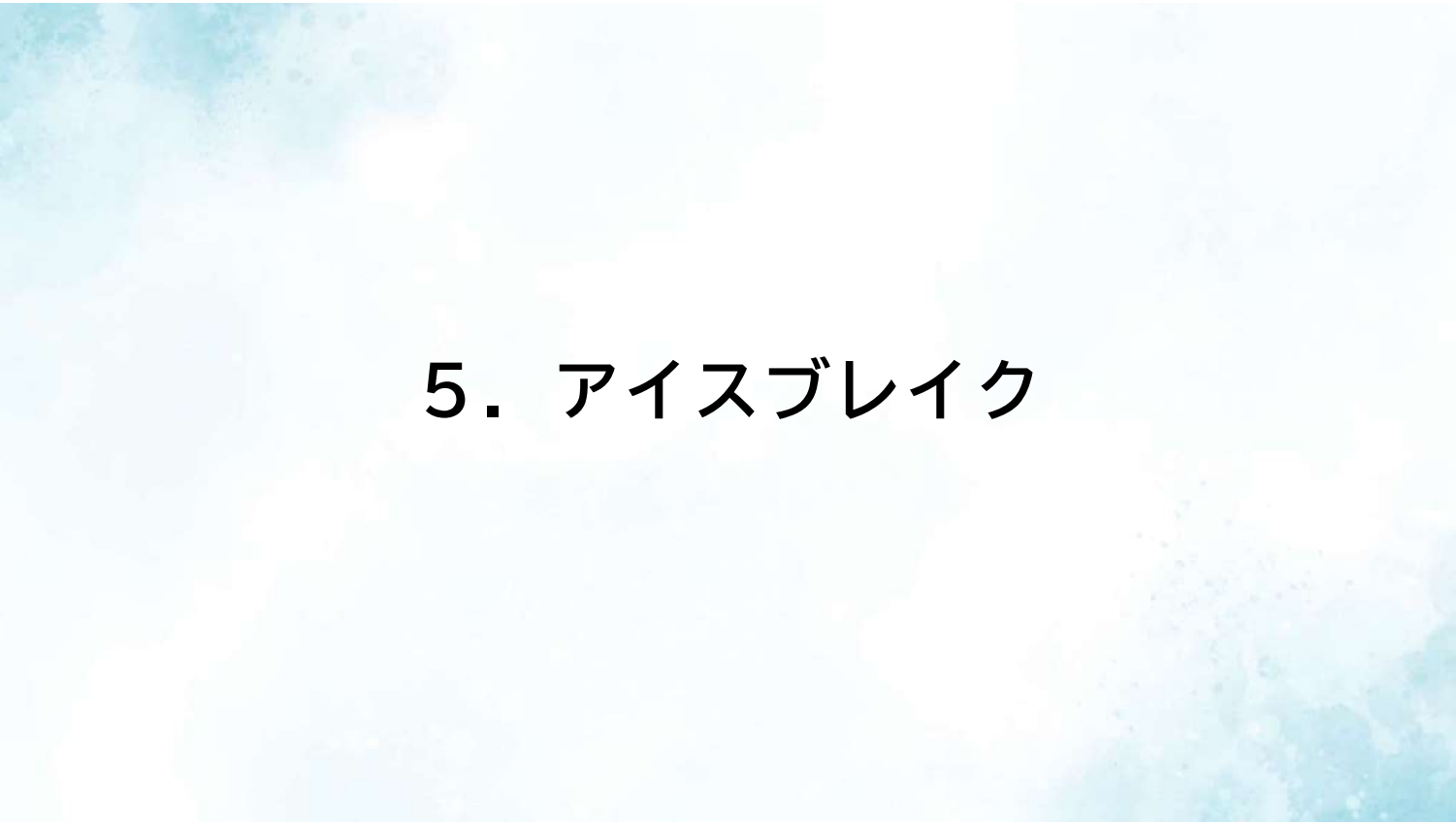
4. オンラインPF「Liqlid」について

「アイデア」機能を使って自己紹介を投稿してみよう！

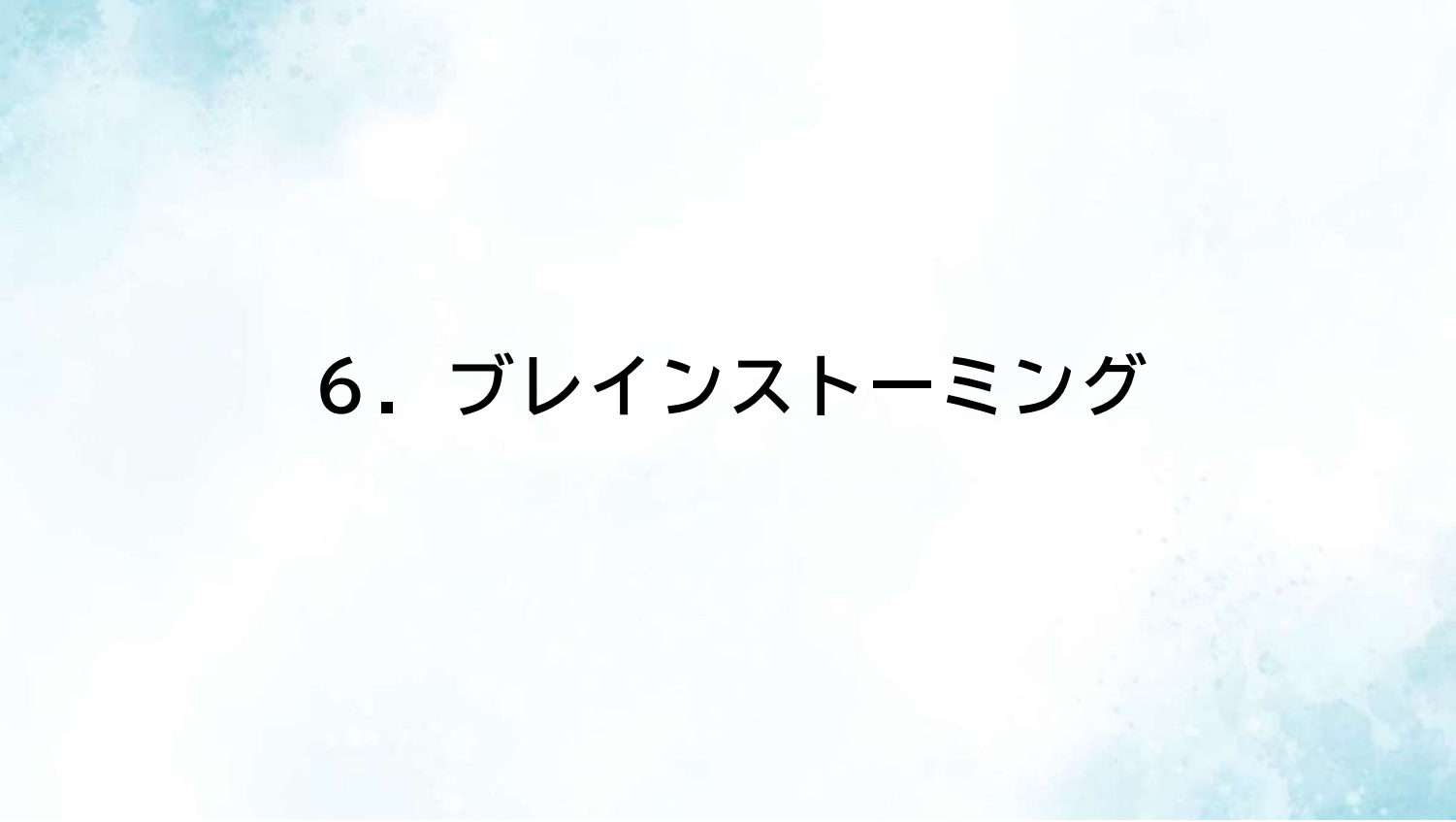
《書き込むこと（例）》

- ・ 氏名（必須）
- ・ 最近のマイブーム
- ・ WSに取り組むにあたって一言！





5. アイスブレイク



6. ブレインストーミング

6. ブレインストーミング

ブレインストーミングとは

- ・ブレインストーミング (brainstorming、略して「ブレスト」) は、会議で使用される「集団発想法」の一つです。
- ・ **複数人でアイデアを自由に出し合う**ことで、**新たな発想を生み出す**ことを目的としています。
- ・ アナログな作業の中では、「ふせん」などのメモにアイデアを書き出していき、それを同様の内容ごとにまとめていくことで、考え方を整理していきます。



6. ブレインストーミング

ブレストのルール

1. 「質より量」を重視

「質」にはこだわらず、様々なアイデアを出すことを心掛けます。「いまいかな」と思う意見も、組み合わせで革新的な意見になることも。アイデアの吟味・選別は後からでOK。思いついたら書き出しましょう。

2. 他の意見・アイデアを否定しない

相手の意見を否定したり、結論付けないことが、ブレストの最も基本的かつ大切なルールです。「自分とは違うな」と思った意見も否定せず、アイデアを出し合いましょう。すべての意見をテーブル上に出すことが大切です。

3. 「楽しく」「自由」にアイデアを出す

アイデアを出す際は悩まずに楽しく。時には談笑しながら、肩の力を抜いて、みんなでリラックスして臨みましょう。また、意外でユニークなアイデアはウェルカム！奇抜で斬新なアイデアには新しい発見が隠れていることがあります。固定観念にとらわれず、積極的に斬新さを狙っていきましょう。

4. アイデアを結合しまとめる

出されたアイデアは、分類・整理したり、組み合わせたりしながら、まとめて整理していきます。今回のブレストはまとめた結果から、「結城市の課題」を見つけていくことがゴールとなります。
※4はLiqid上で次回のWSまでの間に進めていく予定。

6. ブレインストーミング

テーマ “結城市の「いいトコロ」「もうちょっとなトコロ」”

先ほどの自己紹介と同様に、上記テーマの「アイデア」へ投稿してください。
※今回は「タグ」という機能をつけています。

投稿する際には、

- ①「いいトコロ」「もうちょっとなトコロ」の**いずれか**を選択
- ②次に、どの「分野」に当てはまるか選択して投稿（複数可）

※分野が分からない場合は「その他」を選択

The screenshot shows a web form titled "投稿" (Submit) with a close button (X). The main heading is "結城市の「いいトコロ」「もうちょっとなトコロ」". Below this, a text box instructs users to select tags from "いいトコロ" or "もうちょっとなトコロ" and choose one or more fields. A red dashed box highlights the "タグ" (Tags) section, which includes a "タグ" label and a grid of colored buttons for different fields: "もうちょっとなトコロ" (orange), "いいトコロ" (yellow), "都市・環境" (blue), "保健・福祉" (orange), "文化・教育" (green), "産業・観光" (red), and "協働・行政" (dark blue). Below the tags are buttons for "位置情報を登録" (Register location information), "画像を追加" (Add image), and a dropdown for "関連リンク・アイデアの補足説明を追加" (Add related links or supplementary explanations for ideas). At the bottom, there is a toggle for "匿名で投稿する" (Submit anonymously) and a "投稿する" (Submit) button.

次回までをお願いしたいこと

本日のアイデア投稿の継続

⇒ 1月5日（日）まで

投稿数の目標… 100件！



投稿された意見をまとめ、課題（案）を提示

《次回開催案内》

日時：令和7年1月26日（日）

午後1時30分 開始予定

会場：市役所4階 大会議室

本日はお疲れさまでした。



第6次結城市総合計画後期基本計画

策定市民ワークショップ

結城市企画財務部企画政策課

第2回 令和7年1月26日（日）



目次

1. 第1回の振り返り

2. グループワーク

テーマ①

「結城市の“改善すべき課題”って何だろう？」

テーマ②

「課題解決のための“提案”を考えてみよう！」

3. その他

1. 第1回の振り返り

1. 第1回の振り返り

グループワーク 「結城市のいいところ・もうちょっとなところ」

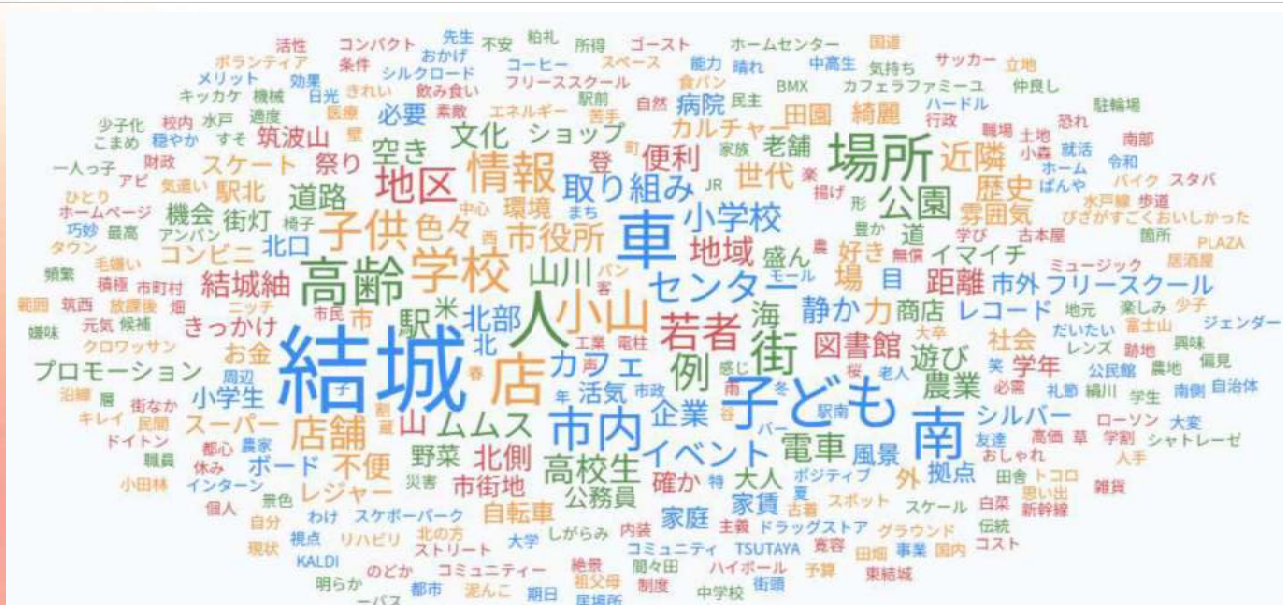
- ・ A・B・Cのグループに分かれ、Liqlid上へ投稿。
- ・ 「結城市のおすすめスポット」というテーマから、本題へ。
- ・ WS後も引き続きLiqlid上へ投稿を継続。

⇒ 投稿数 175件 (重複あり)

保健・福祉	11件	教育・文化	47件
都市・環境	47件	協働・行政	16件
産業・観光	54件		

1. 第1回の振り返り

投稿内容の分析 ～ワードクラウド～



1. 第1回の振り返り

投稿内容の分析 ～ワードクラウド～

主なキーワードを抜粋

子ども

結城紬

電車

農業

スーパー

車

公園

図書館

不便

遊び

南

若者

カフェ

歴史

空き家

店舗

高齢

スケボー

街灯

祭り

1. 第1回の振り返り

投稿内容の分析 ～A I 分析結果～

寄せられた意見を大きく6つの項目に分類

1. 地域活性化
2. 教育と子育て
3. 交通とアクセス
4. 環境と自然
5. 高齢者支援
6. 情報とコミュニケーション



1. 第1回の振り返り

投稿内容の分析 ～A I 分析結果～

1. 地域活性化 - 地域の活性化や商業の振興に関する提案 -

①空き店舗の活用

- ・空き店舗を利用した新たなビジネスの促進。

②イベントの開催

- ・地域イベントや市民活動の充実

③観光資源の活用

- ・観光客を呼び込むための施策



1. 第1回の振り返り

投稿内容の分析 ～A I 分析結果～

2. 教育と子育て - 教育環境や子育て支援に関する意見 -

①教育の質向上

- ・教育制度や環境の改善に関する要望。

②遊び場の不足

- ・子どもたちが遊べる場所の不足に関する意見

③子育て支援の充実

- ・子育て世代への支援策の強化。

教育と子育て

50 Claims, 3 Subtopics

[Back to overview](#)

教育環境や子育て支援に関する意見。

教育の質向上

教育制度や環境の改善に関する要望。

22 Claims

遊び場の不足

子どもたちが遊べる場所の不足に関する意見。

17 Claims

子育て支援の充実

子育て世代への支援策の強化。

13 Claims

1. 第1回の振り返り

投稿内容の分析 ～A I 分析結果～

3. 交通とアクセス - 地域内外の移動手段や交通インフラに関する意見 -

①公共交通の整備

- ・駅やバスの利便性向上に関する提案。

②車社会の課題

- ・車がないと不便な地域の問題点。

③自転車利用の促進

- ・自転車での移動を快適にするためのインフラ整備。

交通とアクセス

34 Claims, 3 Subtopics

[Back to overview](#)

地域内外の移動手段や交通インフラに関する意見。

公共交通の整備

駅やバスの利便性向上に関する提案。

17 Claims

[Click to view subtopic](#)

車社会の課題

車がないと不便な地域の問題点。

14 Claims

自転車利用の促進

自転車での移動を快適にするためのインフラ整備。

3 Claims

1. 第1回の振り返り

投稿内容の分析 ～A I 分析結果～

4. 環境と自然 - 地域の自然環境や環境保護に関する意見 -

①農業の振興

- ・地域農業の支援や振興策。

②緑地の保全

- ・自然環境を守るための取り組み。

環境と自然

11 Claims, 2 Subtopics

[Back to overview](#)

地域の自然環境や環境保護に関する意見。

農業の振興

地域農業の支援や振興策。

7 Claims

緑地の保全

自然環境を守るための取り組み。

4 Claims

1. 第1回の振り返り

投稿内容の分析 ～A I 分析結果～

5. 高齢者支援 - 高齢者向けの施策やコミュニティ形成に関する意見 -

①高齢者の交流の場

- ・高齢者が集まる場所や活動の必要性。

②交通手段の確保

- ・高齢者が移動しやすい交通手段の整備。

高齢者支援

9 Claims, 2 Subtopics

[Back to overview](#)

高齢者向けの施策やコミュニティ形成に関する意見。

高齢者の交流の場

高齢者が集まる場所や活動の必要性。

7 Claims

交通手段の確保

高齢者が移動しやすい交通手段の整備。

2 Claims

1. 第1回の振り返り

投稿内容の分析 ～A I 分析結果～

6. 情報とコミュニケーション

- 地域情報の発信や市民とのコミュニケーションに関する意見 -

①情報発信の強化

- ・市の取り組みやイベント情報の周知。

②市民参加の促進

- ・市民が意見を出し合える場の必要性。



1. 第1回の振り返り

本市民WSの進め方

全3回のWSの中で、以下の内容を予定しています。

1. 結城市の現状を知る
2. 結城市における課題を見つける
3. 課題の解決に向けた提案を検討
4. 提案をまとめる

⇒ 「提案書」を市へ提出

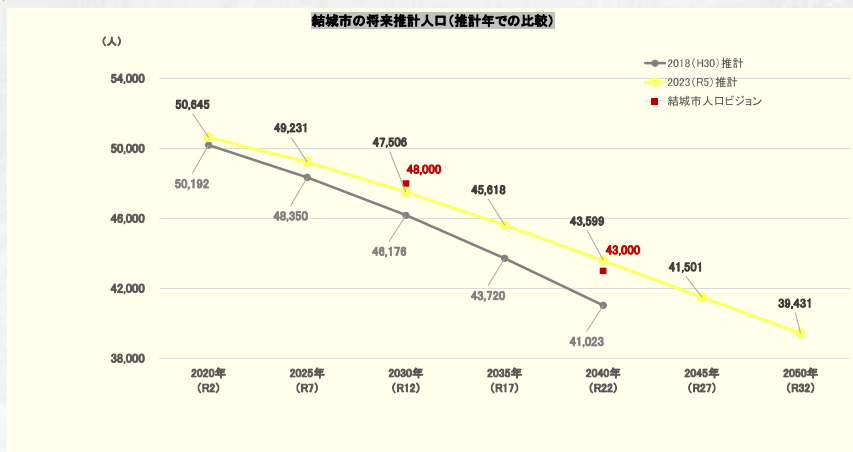
**グループワークに入る前に…
こんなデータもお伝えします。**

結城市の人口に関する分析

参考 将来推計人口について

令和6年度 まち・ひと・しごと創生推進会議資料から抜粋

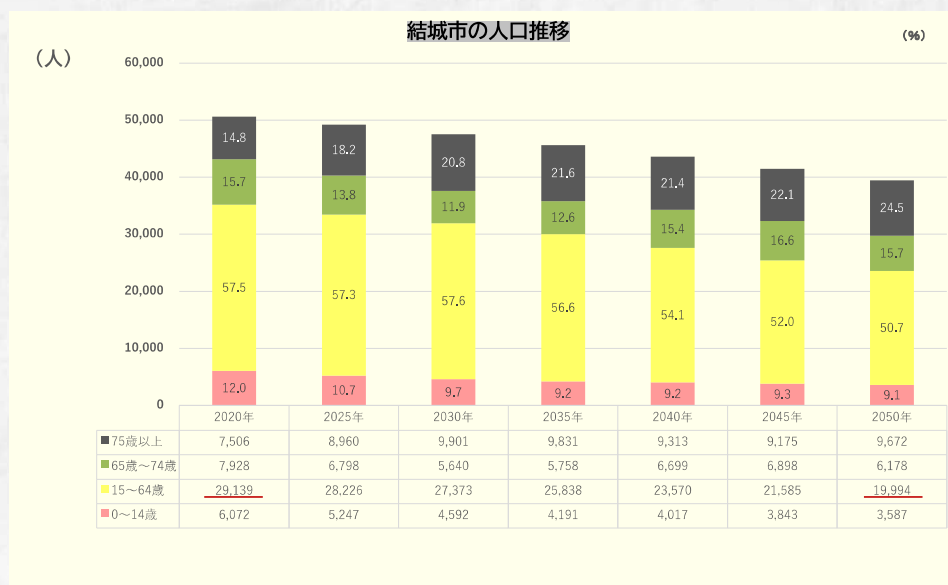
- ・2020年に50,645人だった結城市の人口は、**2050年は39,431人**となり、11,214人（22.1%）減少すると推計されています。
- ・2018推計では2040年に41,023人まで減少すると推計されていましたが、2023推計では**43,599人に上方修正**されました。
- ・第6次結城市総合計画における将来展望人口（結城市人口ビジョン）では、2030年は48,000人、2040年は43,000人としていますので、今後、令和5年度の推計値どおり推移すれば、将来展望人口を概ね達成できる見込みとなっています。



参考 一方での課題…人口の推移

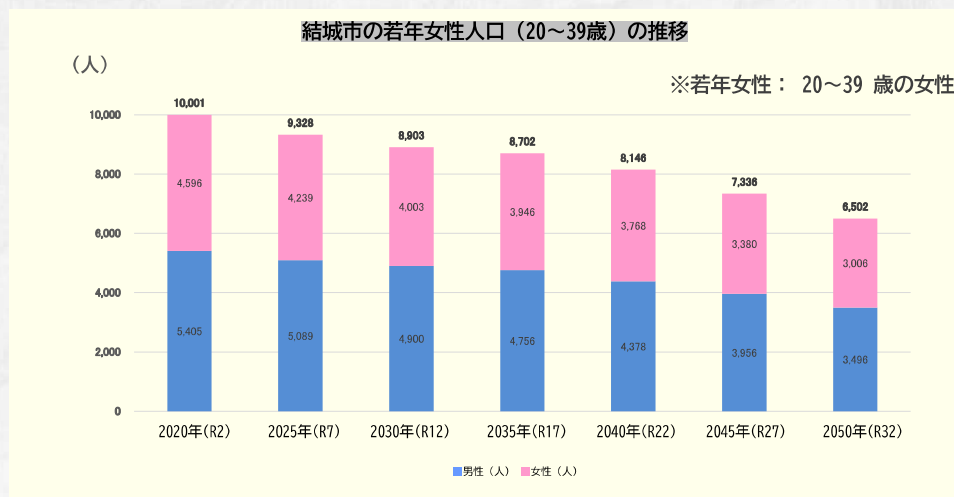
令和6年度 まち・ひと・しごと創生推進会議資料から抜粋

- ①15歳～64歳の生産年齢人口の減少
- ②0～14歳の年少人口の減少
- ③75歳以上の後期高齢者の増加・高止まり



参考 一方での課題…若年女性人口の推移 令和6年度 まち・ひと・しごと創生推進会議資料から抜粋

- ・合計特殊出生率のうち、95%は 20～39 歳の女性によるものであり、若年女性人口が減少し続ける限りは、人口の減少に歯止めがかからない関係にあります。
- ・民間組織「人口戦略会議」では、2020～50年の30年間で、子どもを産む中心の年代となる20～39歳の女性が半数以下となる自治体は「消滅可能性」とあると分析しています。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

Well-Being（地域幸福度）について

参考 Well-Being（地域幸福度）について

Well-Being（地域幸福度）とは？

Well-Being（地域幸福度）は、Well（よい）とBeing（状態）からなる言葉で、「個人や社会の良い状態」を指します。

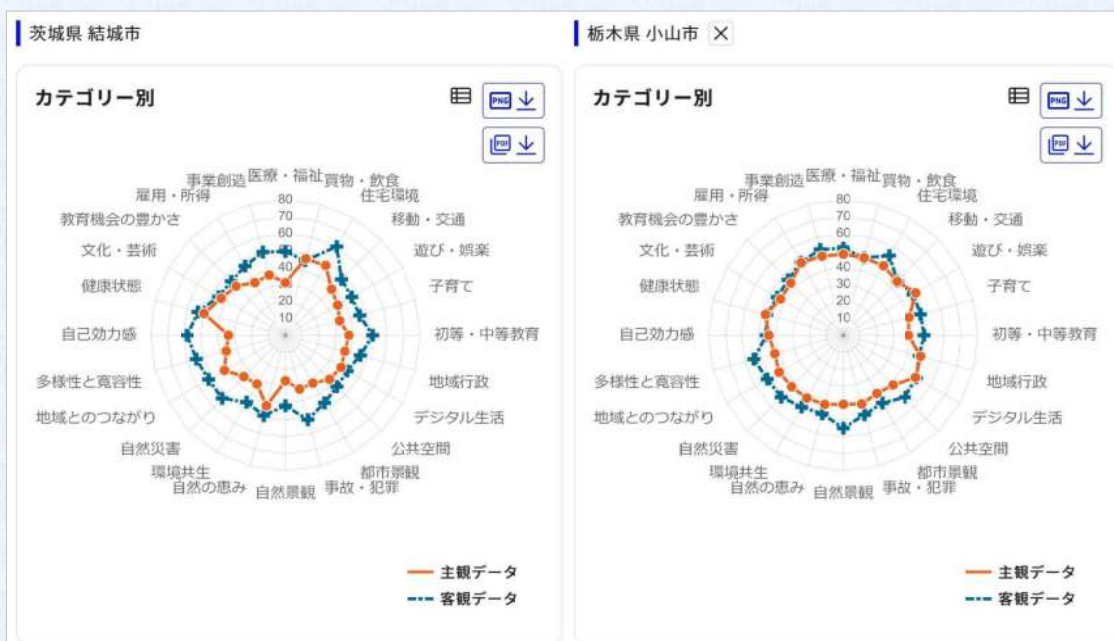
人々の心豊かな暮らしの実現のためには、「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-Being）」が必要です。

幸福度を「主観指標」と「客観指標」として示したものが「Well-being指標」であり、近年の国の“地方創生”の取組をはじめ、まちづくりにおいても重要になってきています。

また、2030年が目標年次とされているSDGs（Sustainable Development Goals）ですが、その後の目標概念として有力視されているのが、SWG（Sustainable Well Being Goals）とも言われています。

参考 Well-Being（地域幸福度）について

結城市と小山市のWell-Being指標をみてみよう



【主観指標】

住民アンケート結果などをもとにした市民の「幸福感」を表すもの。
(一人ひとりが感じる認識や感覚から見えるもの)

【客観指標】

オープンデータなどをもとにした、「暮らしやすさ」を表すもの。
(数値基準で判断したもの)

参考 Well-Being（地域幸福度）について

結城市と小山市の比較

上位

種別	主観データ				客観データ			
自治体	結城市		小山市		結城市		小山市	
順位	項目	偏差値	項目	偏差値	項目	偏差値	項目	偏差値
1	健康状態	49.6	遊び・娯楽	50.1	住宅環境	60.5	自然景観	54.9
2	住宅環境	47.6	デジタル生活	49.9	自己効力感	57.8	多様性と寛容性	54.5
3	買物・飲食	46.8	雇用・所得	49.5	多様性と寛容性	54.3	住宅環境	54.3
4	文化・芸術	43.7	事業創造	48.4	健康状態	53.2	事業創造	52.5
5	自然の恵み	43.1	医療・福祉	47.9	自然災害	52.7	公共空間	51.8

下位

種別	主観データ				客観データ			
自治体	結城市		小山市		結城市		小山市	
順位	項目	偏差値	項目	偏差値	項目	偏差値	項目	偏差値
1	自然景観	26.9	初等・中等教育	39.1	自然景観	41.6	文化・芸術	45
2	医療・福祉	31.1	都市景観	39.7	デジタル生活	42.2	移動・交通	45
3	都市景観	32.6	子育て	40.8	公共空間	42.9	自己効力感	45.4
4	事故・犯罪	32.9	自然景観	40.8	教育機会の豊かさ	45.1	都市景観	46.1
5	子育て	33.1	公共空間	41.5	遊び・娯楽	45.2	教育機会の豊かさ	46.2

2. グループワーク

2. グループワーク①

テーマ1 結城市の“改善すべき課題”って何だろう？

前回のWSで考えた「もうちょっとなトコロ」から見えてくる、

“これを改善すれば結城市はもっとよくなる”ことや“市民の満足度があがる”ことは何でしょう？

前回のグループワークの結果やキーワードも参考に考えてみよう。

・もうちょっとなトコロ ⇒どうしてもうちょっと？何が原因？＝課題や改善点

2. グループワーク①

例えば…

- ・子どもたちが遊んだり集まれる場が少ない
- ・北部商店街をはじめ、市内の店舗が撤退・閉店している
- ・夜にタクシーや代行がない（飲んだら帰れない！※深刻）

⇒人口減少、少子高齢化 などから考えたもの

ワードクラウドの…店、店舗、子ども、若者、高齢、北側 など

2. グループワーク①

①自身が思ったことを、ポストイットへ書き出そう（10分間）

⇒フレーズやキーワードでもOK、どんどん悩まずに書こう！

⇒**目標1人5つ！** 特に“**面白い課題**”を意識して探してみよう！

②グループで意見交換しながら、新しい意見を出していこう（20分）

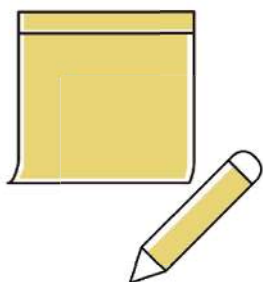
③出てきた意見を、内容ごとにまとめていこう（10分）

④まとめた結果を発表し、他のグループの意見を聞いてみよう（共有）

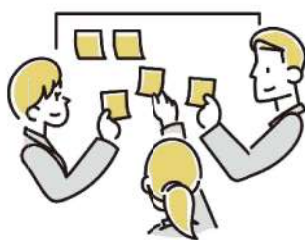
2. グループワーク①

作業イメージ

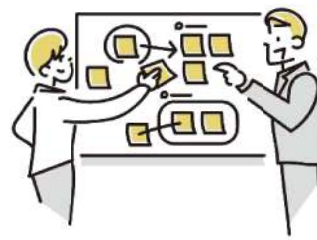
①ふせんに書き出す ②模造紙に貼っていく ③グルーピングする ④完成・発表



考えすぎず、質より量で！



②と③は並行して進めてOK！

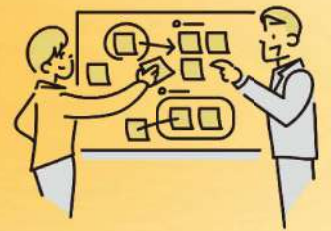


他のグループと共有
します

ブレインストーミングのルール

ブレインストーミングとは

- ・ブレインストーミング（brainstorming、略して「ブレスト」）は、会議で使用される「集団発想法」の一つです。
- ・複数人でアイデアを自由に出し合うことで、新たな発想を生み出すことを目的としています。
- ・アナログな作業の中では、「ふせん」などのメモにアイデアを書き出していき、それを同様の内容ごとにまとめていくことで、考え方を整理していきます。



ブレインストーミングのルール

1. 「質より量」を重視

「質」にはこだわらず、様々なアイデアを出すことを心掛けます。「いまいかな」と思う意見も、組み合わせで革新的な意見になることも。アイデアの吟味・選別は後からでOK。
思いついたら書き出しましょう。

2. 他の意見・アイデアを否定しない

相手の意見を否定したり、結論付けないことが、ブレストの最も基本的かつ大切なルールです。「自分とは違うな」と思った意見も否定せず、アイデアを出し合いましょう。すべての意見をテーブル上に出すことが大切です。

3. 「楽しく」「自由」にアイデアを出す

アイデアを出す際は悩まずに楽しく。時には談笑しながら、肩の力を抜いて、みんなでリラックスして臨みましょう。
また、意外でユニークなアイデアはウェルカム！ 奇抜で斬新なアイデアには新しい発見が隠れていることがあります。固定観念にとらわれず、積極的に斬新さを狙っていきましょう。

4. アイデアを結合しまとめる

出されたアイデアは、分類・整理したり、組み合わせたりしながら、まとめて整理していきます。ふせんを貼りなおして、グルーピングしてきましょう。
ふせんをまとめ終わったら、「このまとまりはこんなこと」と内容を整理していけるとベストです！

2. グループワーク②

テーマ2 課題解決のための“提案”を考えてみよう

グループワーク①で考えた“改善すべき課題”を解決するためには、
どんなことをすべきでしょうか？

ポイント！

- ・見つけた課題に対して、住民が“Well-Being（幸福）”な生活を送るためには？
- ・ホットなキーワードから考えてみる（DX、人口減少、多文化共生…）
- ・課題解決のために、「市役所がやったほうがいいこと」は？
- ・市役所だけでなく、自分たちが周りの人や団体、商店などと「やってみよう」「一緒にやれたらいい」と思うことは？

2. グループワーク②

例えば…

- ・北部商店街をはじめ、市内の店舗が撤退・閉店している
⇒新規店舗呼び込みは難しい…“コンパクト”なまちづくりを進める
（移動手段などのフォローは必要）
- ・子どもたちが遊んだり集まれる場が少ない
⇒“今あるもの”を活用

例えば“空き店舗”を利用した場やコミュニティづくりはどうか？

2. グループワーク②

グループワーク①と同様に、

- ・自分の考えを、ポストイットへ書き出そう（10分間）
⇒ **目標1人3つ以上！** 思いついたらどんどん書き出してOK！
- ・グループで意見交換、追加の意見出し（20分）
- ・出てきた意見を、内容ごとにまとめていこう（10分）
- ・まとめた結果を発表し、他のグループの意見を聞いてみよう（共有）

《次回開催案内》

日時：令和7年3月5日（水）

午後6時30分 開始予定

会場：市役所4階 大会議室

本日はお疲れさまでした。

次回が最終回の予定です。

ご出席・ご協力を
よろしくお願いします。



第6次結城市総合計画後期基本計画

策定市民ワークショップ

結城市企画財務部企画政策課

第3回 令和7年3月5日（水）



目次

1. 第2回の振り返り

2. グループワーク

内容「課題解決に向けた“提案”をまとめよう」

3. 提案結果の発表

4. その他

1. 第2回の振り返り

2

1. 第2回の振り返り

下記テーマについてのグループワークを実施しました

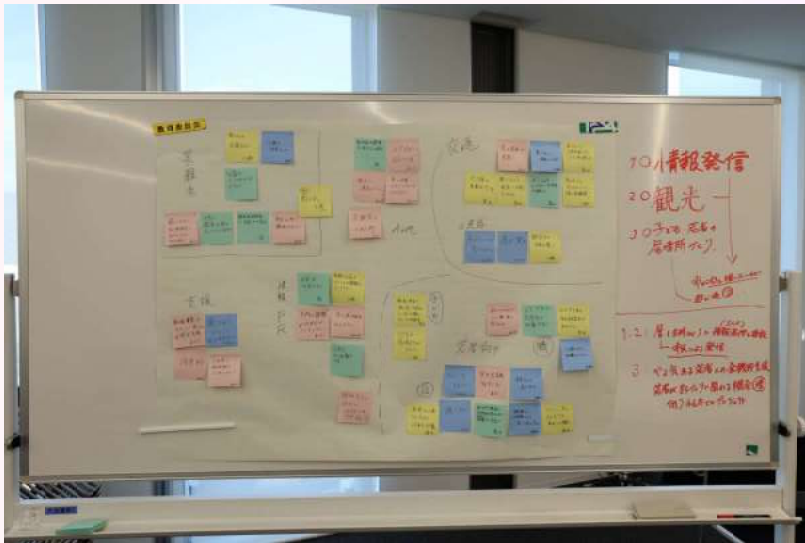
- 「①結城市の“改善すべき課題”って何だろう？」
- 「②課題解決のための“提案”を考えてみよう」

- ・ A・B・Cのグループに分かれ、一人ひとりが考える“課題”をふせんに書き出し、整理（グルーピング）。
- ・ 課題に対する解決策について、意見交換しながら検討、書き出し。
- ・ 各グループの検討結果について発表。

3

1. 第2回の振り返り

検討結果 Aグループ



○課題

1. 情報発信が不足している
(市の情報発信不足、観光における本市の価値の再評価の必要性)
2. 子どもや若者の遊び場が不足している
(遊ぶ場所が少ない、学生がまちづくりに参画する機会が少ない)

○解決策の提案

1. 情報発信の改善が必要…若者や主婦層に情報発信を委託し、地域を紹介してもらう。
2. やる気ある学生（高校生や大学生）がまちづくりに関わる機会を創出し、子どもの居場所づくりの担い手としての参画を促す。

4

1. 第2回の振り返り

検討結果 Bグループ



○課題

1. 若者・外国人に対する就職支援が不足している
(若年層や外国籍の住民に市内企業が認知されていない)
2. 駅前を中心に空き店舗が多く、美容系の店舗も少ない
3. 子どもの安全な遊び場の不足と高齢者との関わりが希薄化している
(学童以外に遊ぶ場所がない)

○解決策の提案

1. 若年層や外国人向けの企業ツアーを実施し、認知度の向上を図る。
2. 空き店舗を活用した美容系店舗の創業支援を実施する。
3. 空き家や公民館を活用した、高齢者の参加による子どもの居場所づくりを行う。
(高齢者が教える立場に入り、相互にメリットを創出する。)

5

1. 第2回の振り返り

検討結果 Cグループ



○課題

1. シニアの発言力が強く、若者の意見が吸い上げられない環境にある
(若者側も歩み寄れない)
2. 行政の情報発信が分かりにくい
(ホームページもどこに何があるか分からない)
3. 外国人住民が増えているが、お互いの理解促進や交流少なく、理解が不足している

○解決策の提案

1. シニアと若者の関係を解除できるような意見交換や理解促進の場が必要
(Liqidのようなオンラインと対面の併用)
2. 市ホームページにおけるインターフェースの改善や情報の整理の仕方を改善する
3. 外国籍住民との交流の機会を設け、お互いの理解・イメージの改善を図る。

2. グループワーク

2. グループワーク 課題解決に向けた“提案”をまとめよう

本市民WSの進め方

1. 結城市の現状を知る
2. 結城市における課題を見つける
3. 課題の解決に向けた提案を検討
4. 提案をまとめる

⇒ 「提案書」を市へ提出

8

2. グループワーク 課題解決に向けた“提案”をまとめよう

前回検討していただいた提案について、事務局で分類してみました。

A グループ

- ・ 情報発信不足（5. 協働・行政）
- ・ 子どもと若者の居場所づくり（4. 教育・文化）

B グループ

- ・ 若者と外国人の就職支援（3. 産業・観光）
- ・ 空き家を活用した美容系店舗開業（3. 産業・観光）
- ・ シニアによる子どもの遊び場創出（1. 保健・福祉）

C グループ

- ・ シニアと若者の交流の場づくり（5. 協働・行政）
- ・ 行政の情報発信不足（5. 協働・行政）
- ・ 外国人との交流・理解促進（4. 教育・文化）

<結果>

- | | |
|----------|-----|
| 1. 保健・福祉 | …1件 |
| 2. 都市・環境 | …0件 |
| 3. 産業・観光 | …2件 |
| 4. 教育・文化 | …2件 |
| 5. 協働・行政 | …3件 |

9

2. グループワーク 課題解決に向けた“提案”をまとめよう

件数の少なかった分野についても、例えば、こんな意見が出ていました

【1. 保健・福祉】

・施策に子育て世代の意見を取り入れてほしい、街なかが高齢化、若者向けの施策が欲しい、近隣自治体と連携した取組はどうか →健康面を意識した取組

【2. 都市・環境】

・北部市街地の荒廃、車がないと不便、駅北と南で壁がある、街灯が少ない、公園の活気がない、スケボーパークがほしい、小田林駅や東結城駅周辺を整備

⇒公共交通やインフラの整備、コンパクト化

【3. 産業・観光】

・若者の働く場がない、農業に力を入れてほしい、若者向けの楽しめる店がない、夜になるとゴーストタウン、紬をおしゃれに広めたい →若者に魅力あるまちづくり、産業振興

10

2. グループワーク 課題解決に向けた“提案”をまとめよう

集まった意見から、下記のようなテーマを考えてみました。

【都市・環境】

- ・便利で住みやすいまちづくり
- ・世代を問わない現代の公園づくり

【保健・福祉】

- ・市民の健康増進の向上
- ・子育て支援の環境づくり

【産業・観光】

- ・若者の働く場（産業基盤）の整備
- ・魅力的な店舗のあるまち

これらについても提案をまとめ、計画策定の際に考え方を取り入れていきたいと思います。

11

2. グループワーク 課題解決に向けた“提案”をまとめよう

今回は、まとめの作業として提案の“企画書”を作りたいと思います

“企画書”は市民WSでの成果として、“提案書”に収録する予定です
(案には前回のGWで出された意見と提案を落とし込んでいます)

本日は、グループワークの中で意見交換しながら、
企画書を加筆・修正して仕上げる作業を行います！

12

2. グループワーク 課題解決に向けた“提案”をまとめよう

①企画書案に加筆・修正することを、ポストイットへ書き出そう

⇒フレーズやキーワードでもOK、どんどん悩まずに書こう！

特に“面白い課題”を意識して探してみよう！

②書き出したものを、企画書に貼っていこう

③意見交換しながら、企画書を作り上げよう

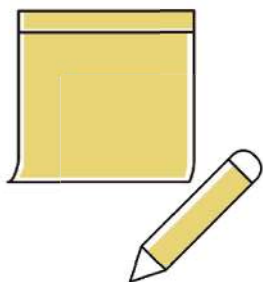
④まとめた結果を発表し、他のグループの意見を聞いてみよう（共有）

13

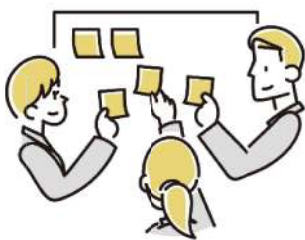
2. グループワーク 課題解決に向けた“提案”をまとめよう

作業イメージ

①ふせんに書き出す ②企画書に貼っていく ③企画書の内容を検討 ④完成・発表



考えすぎず、質より量で！



②と③は並行して進めてOK！



他のグループと共有
します

